

## 2022年関西圏新築マンション契約者動向調査

～平均購入価格は5071万円で、昨年より291万円上昇、2001年調査開始以来、過去最高に  
購入者の平均年齢は41.3歳で過去最高、「資産として有利」という理由が過去最高に～

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：北村 吉弘）の住まい領域の調査研究機関である『SUUMOリサーチセンター』では、新築分譲マンション市場の実態をつかむために、関西圏の新築分譲マンション契約者を対象とした調査を2003年（※2001、2002年契約者分も回収あり）より毎年実施しております。このたび、2022年に契約された方の動向を取りまとめました。時系列比較をしながら、概要をご報告致します。

### 1. 購入者のプロフィール変化

- 世帯主の平均年齢は41.3歳で、2001年調査開始以来最も高い（P4）
- シングル世帯とシニアカップル世帯の割合が、2001年調査開始以来最も高い（P5）
- 既婚世帯の共働き比率は、2021年とほぼ同じ66%（P6）
- 世帯総年収は全体平均で921万円で、2008年以降で最も高い（P7）

### 2. 購入物件の変化

- 大阪市内エリアの購入割合が29%で、2021年よりやや増加（P9）
- 大阪市内以外では、2021年より流出（他エリアで購入）が増えたエリアが多い（P10）
- 平均購入価格は5071万円で、昨年より291万円上昇、2001年調査開始以来最も高くなった（P11）
- 平均専有面積は68.7㎡で、2001年調査開始以来最も小さい（P13）

### 3. 自己資金、ローン借入状況の変化

- 自己資金比率は平均27.6%で、2021年より3ポイント上昇（P15）
- ローン借入総額は平均4304万円で、昨年より213万円上昇、2005年以降で最も高い（P16）

### 4. 購入者の意識変化

- 「資産として有利」という理由が2003年以降で最高、「金利が低い」「税制が有利」等は最低に（P18）
- 「日々の生活がしやすい」を求める割合が、2021年同様最も高く、35%（P19）
- 2021年より、周辺環境の重視度が低下（P20）
- 中古マンションとの並行検討者は全体の49% 2003年以降最も高い（P21）
- 購入を思い立ってから契約までの期間は平均9.6カ月 2021年よりやや長い（P22）

本件に関する  
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

調査概要	3
1. 契約世帯主の属性 年齢	4
2. 契約世帯主の属性 ライフステージ	5
3. 契約世帯主の属性 共働き比率	6
4. 契約世帯主の属性 世帯総年収	7
5. 契約世帯主の属性 共働き世帯の年収詳細	8
6. 購入物件所在地	9
7. 購入物件所在地 契約前住所別推移	10
8. 購入価格	11
9. 購入価格（購入エリア別・平均値の時系列推移）	12
10. 専有面積	13
11. 専有面積（購入エリア別・平均値の時系列推移）	14
12. 自己資金比率	15
13. ローン借入額	16
14. ローン契約形態	17
15. 住まいの購入理由	18
16. 暮らし方のイメージ	19
17. 重視項目	20
18. 検討住宅種別	21
19. 購入を思い立ってから契約までの期間	22

- **調査目的** 関西圏新築分譲マンション契約者の購入物件・購入行動・購入意識など購入動向を把握する
- **調査対象**
  - ▽ 2022年1月～2022年12月の関西圏(大阪府・京都府・兵庫県・奈良県・和歌山県・滋賀県)新築分譲マンション購入契約者
    - ※ 2022年1月～2022年12月の契約者の確認方法…回答票に契約書等(契約日・物件所在地が確認できる書類)コピーの添付を依頼(調査協力依頼①③の方のみ)
- **調査方法**
  - ▽ 協力依頼
    - ① 関西圏各種メディアを通して調査対象者へ協力依頼  
↳ 電車内広告 / 『SUUMO新築マンション』 / 『SUUMO (Web)』 / 『スーモカウンター』 / インターネット広告
    - ② マンション分譲会社での契約会などを通して調査対象者へ協力依頼
    - ③ 調査対象の入居済み新築分譲マンションに、協力依頼書と調査票を投函
  - ▽ 調査方法 ①はWeb調査 ②③はWeb調査と郵送調査の併用
- **集計対象期間** 2022年1月～2022年12月
- **集計数** 計1,920件
  - ▽ 経年のデータについて…年によって調査方法や対象の物件種別は異なるが、各年とも新築分譲マンション契約者のサンプルのみで集計している。また、基本的には調査開始以降全てのデータを掲載しているが、途中から調査するようになった設問もあるため、経年データの開始年は設問によって異なる。
  - ▽ 2003年～2006年は、全住宅購入契約者を対象とした調査(項目は全物件種共通)を一次調査、新築分譲マンション契約者のみを対象とした調査を二次調査として実施。2007年からは一次・二次をまとめ、一括で実施。2009年4月からは調査対象を新築分譲マンション契約者のみに限定して、調査を実施している。

調査	有効サンプル数	調査発表
2021年契約者	2,220件	2022年3月
2020年契約者	974件	2021年3月
2019年契約者	1,024件	2020年3月
2018年契約者	1,125件	2019年3月
2017年契約者	1,160件	2018年3月
2016年契約者	1,355件	2017年3月
2015年契約者	1,449件	2016年3月
2014年契約者	1,088件	2015年3月
2013年契約者	1,557件	2014年3月
2012年契約者	2,041件	2013年3月
2011年契約者	1,607件	2012年3月

調査	有効サンプル数	調査発表
2010年契約者	1,967件	2011年3月
2009年契約者	922件	2010年3月
2008年契約者	1,071件	2009年4月
2007年契約者	1,035件	2008年4月
2006年契約者	1,603件 (うち二次調査: 1,489件)	
2005年契約者	1,248件 (うち二次調査: 936件)	
2004年契約者	1,146件 (うち二次調査: 870件)	
2003年契約者	1,648件 (うち二次調査: 1,276件)	
2002年契約者 ※	1,473件 (うち二次調査: 1,204件)	
2001年契約者 ※	1,500件 (うち二次調査: 1,388件)	

※調査開始が2003年からであるため、2001・2002年契約者分は、2003年以降の調査で回収した。

エリア区分は市区郡を元に次のように分類している:

大阪市内エリア	【大阪府】 大阪市
北摂エリア	【大阪府】 豊中市、池田市、吹田市、高槻市、茨木市、箕面市、摂津市、三島郡、豊能郡 【兵庫県】 川西市、川辺郡
阪神間エリア	【兵庫県】 尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、丹波篠山市
神戸市以西エリア	【兵庫県】 神戸市、姫路市、明石市、加古川市、西脇市、三木市、高砂市、小野市、加西市
南大阪・和歌山エリア	【大阪府】 堺市、泉南市、岸和田市、泉大津市、貝塚市、泉佐野市、富田林市、河内長野市、松原市、和泉市、羽曳野市、高石市、藤井寺市、大阪狭山市、泉北郡、泉南郡、南河内郡 【和歌山県】 (全域)
東大阪・奈良エリア	【大阪府】 東大阪市、八尾市、柏原市 【奈良県】 (全域)
京阪エリア	【大阪府】 交野市、四條畷市、守口市、枚方市、寝屋川市、大東市、門真市
京都エリア	【京都府】 (全域)
滋賀エリア	【滋賀県】 (全域)
その他	上記以外の大阪府、兵庫県

※調査データを引用する際は、「2022年関西圏新築マンション契約者動向調査(株式会社リクルート)」と明記をお願い致します。

# 1. 契約世帯主の属性 年齢

## ● 世帯主の平均年齢は41.3歳で、2001年調査開始以来最も高い

- ◇ 30代が4割強を占めるが、50代以上がやや増加、平均年齢は41.3歳で、2001年調査開始以来最も高くなった。
- ◇ ライフステージ別に見ると、夫婦のみ世帯の平均年齢が最も低く、33.9歳である。

## ■ 契約時世帯主年齢(全体／実数回答)

	20代	30～34歳	35～39歳	40代	50代	60歳以上	無回答	平均(歳)
●凡例								
<b>2022年契約者全体 (n=1920)</b>	<b>14.2</b>	<b>22.1</b>	<b>19.3</b>	<b>20.3</b>	<b>11.5</b>	<b>11.4</b>	<b>1.1</b>	<b>41.3</b>
2021年契約者全体 (n=2220)	15.7	24.1	19.1	20.6	9.5	10.2	0.8	40.4
2020年契約者全体 (n= 974)	14.7	30.1	20.7	18.0	9.8	6.3	0.5	38.8
2019年契約者全体 (n=1024)	16.1	30.2	23.3	17.2	8.4	4.2	0.6	37.9
2018年契約者全体 (n=1125)	15.4	31.6	18.3	17.1	8.4	8.2	1.2	38.9
2017年契約者全体 (n=1160)	14.1	29.1	19.3	21.1	8.9	6.9	0.6	39.2
2016年契約者全体 (n=1355)	13.0	28.3	19.1	23.1	9.2	6.4	0.8	39.5
2015年契約者全体 (n=1449)	14.6	27.7	22.4	19.0	8.8	7.1	0.3	39.0
2014年契約者全体 (n=1088)	14.9	26.9	23.4	20.2	9.7	4.6	0.2	38.5
2013年契約者全体 (n=1557)	14.9	26.5	21.3	21.6	10.3	5.2	0.3	38.9
2012年契約者全体 (n=2041)	16.7	28.9	24.0	18.2	8.0	4.0	0.3	37.7
2011年契約者全体 (n=1607)	17.4	28.4	22.7	20.5	6.0	4.9	0.1	37.7
2010年契約者全体 (n=1967)	17.4	31.2	23.9	17.6	6.6	3.2	0.2	36.8
2009年契約者全体 (n= 922)	19.0	31.8	22.9	19.1	5.2	2.1	—	36.2
2008年契約者全体 (n=1071)	24.3	31.7	21.6	15.6	4.7	2.1	—	35.3
2007年契約者全体 (n=1035)	21.3	34.2	23.2	15.7	4.0	1.6	0.1	35.3
2006年契約者全体 (n=1603)	22.0	35.6	20.6	15.3	3.9	2.1	0.5	35.3
2005年契約者全体 (n=1248)	19.7	34.7	19.1	18.3	5.6	2.5	0.2	36.1
2004年契約者全体 (n=1146)	21.2	36.0	18.9	15.5	5.8	1.9	0.6	35.6
2003年契約者全体 (n=1648)	22.1	30.8	21.7	17.5	5.7	2.1	0.2	36.0
2002年契約者全体 (n=1473)	22.3	28.4	20.9	18.5	6.7	3.0	0.2	36.6
2001年契約者全体 (n=1500)	23.5	25.3	18.6	17.9	9.8	4.7	0.2	37.6

(単位: %)

2022年契約者全体		1920	14.2	22.1	19.3	20.3	11.5	11.4	1.1	41.3
ライフ ステージ 別	シングル男性世帯	118	15.3	15.3	16.1	24.6	15.3	13.6	—	43.1
	シングル女性世帯	242	8.7	15.3	20.7	25.6	15.3	14.5	—	44.1
	夫婦のみ世帯	498	27.1	31.9	20.1	20.1	—	—	0.8	33.9
	子どもあり世帯	713	11.4	27.2	24.4	23.8	9.3	3.8	0.1	38.7
	シニアカップル世帯	187	—	—	—	—	37.4	62.6	—	62.1
共働き 状況別	既婚・共働きしている	923	19.6	30.2	19.4	18.0	7.9	4.6	0.3	37.4
	世帯総年収1000万円以上	276	12.0	31.9	20.3	21.4	10.5	4.0	—	38.7
	世帯総年収1000万円未満	440	25.7	34.1	18.4	15.5	4.3	1.8	0.2	34.9
	既婚・共働きしていない	475	7.4	15.6	20.0	21.9	13.3	21.5	0.4	45.6
【参考】2022年首都圏契約者全体	5972	13.8	25.8	21.1	21.3	9.3	7.5	1.1	39.7	

50.0 …(属性別)全体値より5ポイント以上高い / (首都圏)関西の全体値より5ポイント以上高い  
 50.0 …(属性別)全体値より5ポイント以上低い / (首都圏)関西の全体値より5ポイント以上低い

3-01-01

※ライフステージ別の区分についてはp5参照。共働き状況別についてはp6参照。

## 2. 契約世帯主の属性 ライフステージ

### ● シングル世帯とシニアカップル世帯の割合が、2001年調査開始以来最も高い

- ◇ 「子どもあり世帯」が37%、「夫婦のみ世帯」が26%を占める。
- ◇ 「シングル世帯」と「シニアカップル世帯」の割合は、それぞれ2001年調査開始以来最も高い。

### ■ ライフステージ(全体／単一回答)

	シングル世帯		夫婦のみ世帯	子どもあり世帯		シニアカップル世帯	その他・不明	シングル世帯	子どもあり世帯
	シングル男性世帯	シングル女性世帯		第一子小学校入学前世帯	第一子小学生以上世帯				
●凡例									
2022年契約者全体 (n=1920)	6.1	12.6	25.9	26.0	11.1	9.7	8.4	18.8	37.1
2021年契約者全体 (n=2220)	5.9	12.8	28.2	25.4	9.8	9.7	8.2	18.7	35.2
2020年契約者全体 (n= 974)	4.6	11.5	34.0	27.3	10.2	6.5	6.0	16.1	37.5
2019年契約者全体 (n=1024)	4.8	8.5	36.5	29.9	8.7	5.3	6.3	13.3	38.6
2018年契約者全体 (n=1125)	5.2	5.8	33.1	30.7	9.1	8.2	8.0	11.0	39.7
2017年契約者全体 (n=1160)	5.9	7.2	31.7	32.0	9.9	7.2	6.2	13.0	41.9
2016年契約者全体 (n=1355)	5.7	8.7	30.8	30.1	10.3	6.9	7.5	14.4	40.4
2015年契約者全体 (n=1449)	5.4	8.9	29.1	32.5	9.9	7.7	6.5	14.3	42.4
2014年契約者全体 (n=1088)	5.7	8.4	30.0	33.0	10.4	5.5	7.1	14.1	43.4
2013年契約者全体 (n=1557)	6.7	8.0	32.1	28.7	11.6	7.3	5.5	14.8	40.3
2012年契約者全体 (n=2041)	5.1	7.6	34.3	31.3	10.2	5.2	6.3	12.7	41.5
2011年契約者全体 (n=1607)	5.2	8.2	34.8	30.2	11.6	3.7	6.2	13.4	41.9
2010年契約者全体 (n=1967)	5.1	7.4	36.9	30.6	10.5	3.7	5.8	12.6	41.0
2009年契約者全体 (n= 922)	5.0	6.8	37.5	31.5	10.4	3.5	5.3	11.8	41.9
2008年契約者全体 (n=1071)	5.6	5.5	36.1	33.3	9.2	2.8	7.4	11.1	42.6
2007年契約者全体 (n=1035)	5.4	4.4	34.8	35.7	11.3	2.3	6.0	9.9	47.1
2006年契約者全体 (n=1603)	5.0	5.4	33.6	35.9	10.9	2.6	6.6	10.4	46.8
2005年契約者全体 (n=1248)	5.4	6.2	31.5	33.0	11.9	3.6	8.3	11.6	45.0
2004年契約者全体 (n=1146)	5.5	8.7	33.5	30.8	12.7	2.8	5.9	14.2	43.5
2003年契約者全体 (n=1648)	5.5	7.8	32.9	29.8	15.5	2.5	6.0	13.2	45.3
2002年契約者全体 (n=1473)	5.4	7.1	29.5	29.8	17.5	4.5	6.2	12.6	47.3
2001年契約者全体 (n=1500)	6.4	7.1	25.0	28.5	21.2	5.9	5.9	13.5	49.7

		1920	6.1	12.6	25.9	26.0	11.1	9.7	8.4	18.8	37.1
共働き状況別	2022年契約者全体	923	—	—	45.6	35.3	11.3	7.8	—	—	46.6
	既婚・共働きしている	276	—	—	42.8	32.6	15.6	9.1	—	—	48.2
	世帯総年収1000万円以上	440	—	—	50.7	38.2	7.5	3.6	—	—	45.7
	世帯総年収1000万円未満	475	—	—	16.2	36.4	23.2	24.2	—	—	59.6
既婚・共働きしていない											
【参考】2022年首都圏契約者全体	5972	7.3	10.9	30.2	25.4	11.0	7.6	7.6	18.2	36.4	
	50.0	…(属性別)全体値より5ポイント以上高い / (首都圏)関西の全体値より5ポイント以上高い									
	50.0	…(属性別)全体値より5ポイント以上低い / (首都圏)関西の全体値より5ポイント以上低い									

※「シニアカップル世帯」は、世帯主年齢が50歳以上の夫婦のみ世帯。

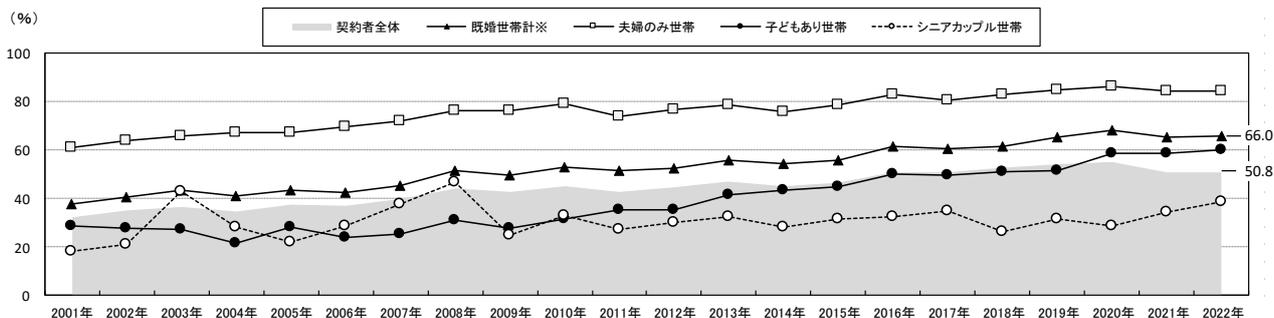
### 3. 契約世帯主の属性 共働き比率

#### ● 既婚世帯の共働き比率は、2021年とほぼ同じ66%

◇ 全体に占める共働き世帯の割合は51%。既婚世帯では66%で、2021年とほぼ同じである。

◇ ライフステージ別に見ると、夫婦のみ世帯では85%、子どもあり世帯では60%、シニアカップル世帯では39%である。

#### ■ 共働き比率(全体/単一回答)



	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
契約者全体	32.0	34.9	36.3	34.4	37.5	36.9	39.7	44.3	42.8	44.9	42.8
既婚世帯計※	37.9	40.6	43.4	41.1	43.2	42.5	45.1	51.7	49.6	53.1	51.6
夫婦のみ世帯	60.8	64.1	65.9	67.4	67.4	69.8	72.2	76.2	76.3	79.0	74.1
子どもあり世帯	28.7	27.8	27.0	21.6	28.0	23.7	25.5	31.1	27.7	31.6	35.1
第一子小学校入学前 世帯	21.1	23.5	21.4	17.6	25.2	20.1	23.0	29.4	24.8	30.8	32.9
第一子小学生以上 世帯	39.0	35.3	37.9	31.5	35.6	35.6	33.3	37.4	36.5	34.0	40.6
シニアカップル世帯	18.0	21.2	42.9	28.1	22.2	28.6	37.5	46.7	25.0	32.9	27.1
【参考】首都圏契約者全体	35.4	36.1	36.8	37.1	39.4	42.7	42.7	39.9	44.6	47.1	47.0

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
契約者全体	44.6	47.1	45.2	46.6	50.6	50.9	52.6	54.3	55.2	51.0	50.8
既婚世帯計※	52.5	55.8	54.5	55.7	61.3	60.4	61.5	65.4	68.1	65.3	66.0
夫婦のみ世帯	76.9	78.8	75.8	78.4	82.7	80.7	83.1	84.8	86.1	84.3	84.5
子どもあり世帯	35.2	41.6	43.2	44.7	50.0	49.4	50.8	51.6	58.6	58.5	60.3
第一子小学校入学前 世帯	34.3	41.2	41.2	48.0	50.7	49.1	54.5	54.9	61.7	62.8	65.3
第一子小学生以上 世帯	37.8	42.5	49.6	34.0	47.9	50.4	38.2	40.4	50.5	47.5	48.6
シニアカップル世帯	30.2	32.7	28.3	31.3	32.3	34.9	26.1	31.5	28.6	34.4	38.5
【参考】首都圏契約者全体	48.8	49.5	53.2	52.1	54.7	56.8	57.3	58.6	59.9	58.9	57.4
50.0	…前年より5ポイント以上増加										
50.0	…前年より5ポイント以上減少										

	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
契約者全体	1,500	1,473	1,648	1,146	1,248	1,603	1,035	1,071	922	1,967	1,607
既婚世帯計※	1,209	1,197	1,331	915	999	1,331	871	873	764	1,605	1,292
夫婦のみ世帯	375	434	542	384	393	539	360	387	346	725	560
子どもあり世帯	745	697	747	499	561	750	487	456	386	807	673
第一子小学校入学前 世帯	427	439	491	353	412	576	370	357	290	601	486
第一子小学生以上 世帯	318	258	256	146	149	174	117	99	96	206	187
シニアカップル世帯	89	66	42	32	45	42	24	30	32	73	59
【参考】首都圏契約者全体	6,919	5,873	4,616	3,743	2,439	3,536	2,847	2,431	3,022	4,035	3,746

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
契約者全体	2,041	1,557	1,088	1,449	1,355	1,160	1,125	1,024	974	2,220	1,920
既婚世帯計※	1,654	1,241	858	1,148	1,058	937	911	823	759	1,622	1,398
夫婦のみ世帯	701	500	326	421	417	368	372	374	331	626	498
子どもあり世帯	847	628	472	615	548	486	447	395	365	781	713
第一子小学校入学前 世帯	638	447	359	471	408	371	345	306	266	564	499
第一子小学生以上 世帯	209	181	113	144	140	115	102	89	99	217	214
シニアカップル世帯	106	113	60	112	93	83	92	54	63	215	187
【参考】首都圏契約者全体	4,384	5,518	3,347	4,065	4,294	4,768	3,760	4,931	5,139	7,289	5,972

(単位:人)

3-01-10

※共働き比率…雇用形態の設定に対し、世帯主・配偶者ともに下記①～⑥のいずれかに該当する者を「共働き」とした。

- ①正社員 ②契約社員 ③公務員・団体職員 ④自営業 ⑤医師・弁護士・税理士・会計士等 ⑥アルバイト・パート
- ⑦主婦 ⑧学生 ⑨無職 ⑩その他

※既婚世帯計…ライフステージの「シングル世帯」と「その他・不明」を除いたサンプルの合計。

#### 4. 契約世帯主の属性 世帯総年収

- 世帯総年収は全体平均で921万円、2008年以降で最も高い

◇ ライフステージ別に見ると、平均世帯総年収が最も高いのは、シニアカップル世帯で1273万円、次いで、子どもあり世帯で965万円である。

#### ■ 世帯総年収（全体／実数回答）

	400万円未満	400～600万円未満	600～800万円未満	800～1000万円未満	1000～1200万円未満	1200万円以上	無回答	平均 (万円)
●凡例								
2022年契約者全体 (n=1920)	1.8	12.9	17.8	14.8	9.0	13.4	30.3	921
2021年契約者全体 (n=2220)	2.2	15.5	19.0	13.7	9.9	10.5	29.2	854
2020年契約者全体 (n= 974)	2.1	12.5	21.8	16.5	9.9	10.4	26.9	856
2019年契約者全体 (n=1024)	2.3	18.2	19.0	13.4	9.4	9.1	28.6	814
2018年契約者全体 (n=1125)	2.5	18.9	23.2	19.3	11.3	10.0	14.8	821
2017年契約者全体 (n=1160)	4.4	27.7	24.1	15.3	9.7	10.9	7.8	776
2016年契約者全体 (n=1355)	3.7	28.0	25.1	15.4	10.6	10.4	6.8	774
2015年契約者全体 (n=1449)	5.4	30.9	24.6	15.0	8.4	6.4	9.2	708
2014年契約者全体 (n=1088)	6.8	32.1	28.0	12.2	8.1	6.5	6.3	701
2013年契約者全体 (n=1557)	6.4	33.8	24.1	15.3	7.2	5.5	7.8	687
2012年契約者全体 (n=2041)	7.8	35.6	25.8	14.0	6.4	4.8	5.5	658
2011年契約者全体 (n=1607)	9.3	37.0	23.0	13.0	7.5	4.3	5.9	650
2010年契約者全体 (n=1967)	8.9	35.8	26.0	13.3	7.4	4.3	4.3	659
2009年契約者全体 (n= 922)	8.6	36.7	27.4	13.8	5.1	5.2	3.3	655
2008年契約者全体 (n=1071)	8.7	38.7	24.9	13.6	6.1	4.9	3.2	644

2022年契約者全体		1920	1.8	12.9	17.8	14.8	9.0	13.4	30.3	921
ライフ ステージ 別	シングル男性世帯	118	2.5	16.1	21.2	6.8	2.5	7.6	43.2	818
	シングル女性世帯	242	7.4	19.8	19.8	6.6	1.7	2.1	42.6	654
	夫婦のみ世帯	498	0.6	15.9	18.3	20.1	12.4	12.9	19.9	877
	子どもあり世帯	713	0.3	10.9	20.5	17.8	11.1	18.5	20.9	965
	シニアカップル世帯	187	2.7	3.2	6.4	8.0	7.5	19.3	52.9	1273
共働き 状況別	既婚・共働きしている	923	0.3	11.1	17.3	19.0	12.1	17.8	22.4	954
	世帯総年収1000万円以上	276	—	—	—	—	40.6	59.4	—	1342
	世帯総年収1000万円未満	440	0.7	23.2	36.4	39.8	—	—	—	710
	既婚・共働きしていない	475	1.5	12.8	18.7	14.1	9.1	14.3	29.5	966
【参考】2022年首都圏契約者全体	5972	1.1	8.8	14.7	15.6	13.4	22.1	24.2	1034	

(単位: %)

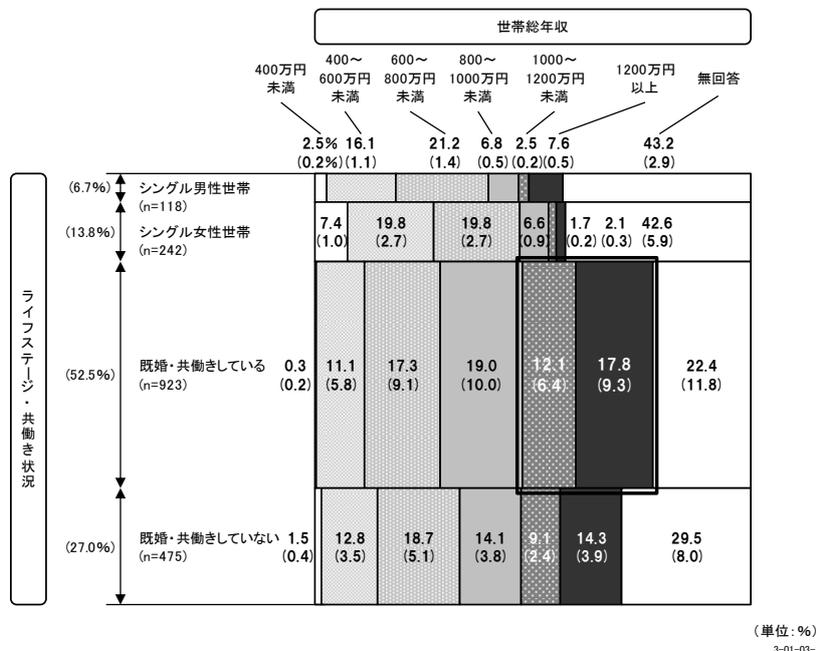
※実数回答形式での世帯総年収は2008年からの設問のため、2008年からのデータ掲載となっている。  
 ※調査票では、「Q.住宅ローン返済者全員の合計の税込年収はどのくらいですか」と尋ねている。

## 5. 契約世帯主の属性 共働き世帯の年収詳細

### ● 総年収1000万円以上の既婚共働き世帯が、全体の16%

◇ 総年収1000万円以上の既婚共働き世帯について、世帯主、配偶者それぞれの平均年収を見ると、世帯主が913万円、配偶者が540万円である。

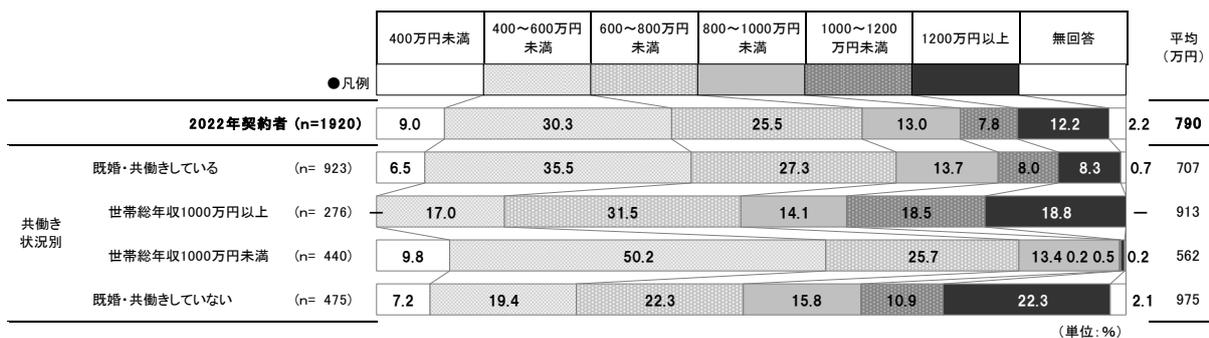
### ■ 世帯総年収（ライフステージ分類不能サンプルを除く n 1,758 / 実数回答）



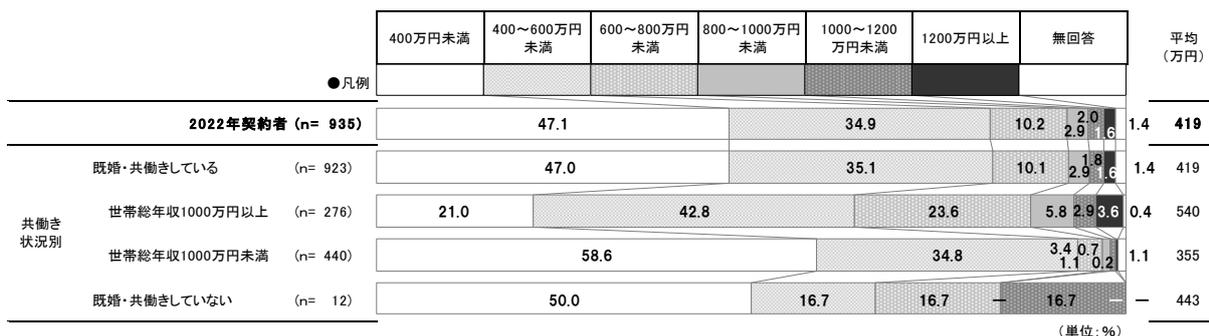
※調査票では、「Q.住宅ローン返済者全員の合計の税込年収はどのくらいですか?」と尋ねている。

※上記の面積グラフは、( )内の%がn1,758に占める割合、( )上の%は各ライフステージや共働き状況の中での割合を示す。

### ■ 世帯主年収（全体／実数回答）



### ■ 配偶者年収（既婚世帯 & 配偶者が働いている／実数回答）

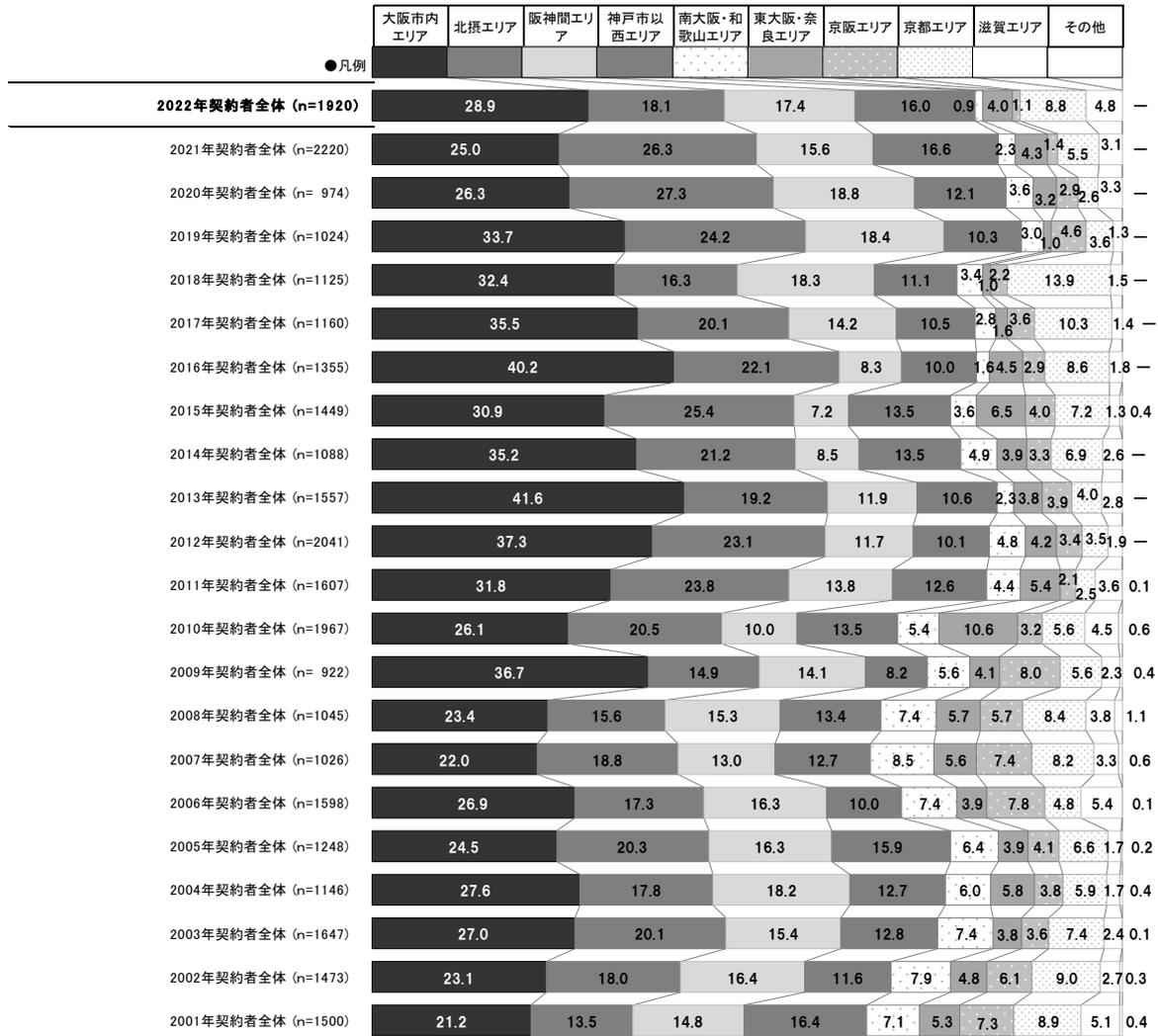


## 6. 購入物件所在地

### ● 大阪市内エリアの購入割合が29%で、2021年よりやや増加

- ◇ 購入した物件の所在地では、「大阪市内エリア」が最も多く29%で、2021年よりやや増加した。「京都エリア」も2021年と比べてやや増加、反対に、減少したのは「北摂エリア」である。
- ◇ 「大阪市内エリア」の購入割合が全体と比べて高いのは、ライフステージ別ではシングル男女世帯である。

### ■ 購入物件所在地(全体／単一回答)



2022年契約者全体		1920	28.9	18.1	17.4	16.0	0.9	4.0	1.1	8.8	4.8	—
ライフステージ別	シングル男性世帯	118	40.7	13.6	11.0	12.7	1.7	4.2	—	11.9	4.2	—
	シングル女性世帯	242	40.9	12.8	9.9	14.9	0.4	2.5	1.7	9.5	7.4	—
	夫婦のみ世帯	498	31.3	16.7	17.1	16.3	1.0	5.0	1.0	6.4	5.2	—
	子どもあり世帯	713	21.7	24.0	20.3	15.8	0.8	4.2	0.8	9.1	3.1	—
	シニアカップル世帯	187	23.5	11.2	17.6	18.7	2.1	2.7	2.7	13.9	7.5	—
共働き状況別	既婚・共働きしている	923	26.0	18.7	20.2	16.7	1.1	4.4	1.2	7.7	4.0	—
	世帯総年収1000万円以上	276	28.3	24.6	21.4	14.5	0.7	1.4	0.4	7.2	1.4	—
	世帯総年収1000万円未満	440	23.2	18.9	18.4	18.4	0.9	5.9	1.8	7.3	5.2	—
	既婚・共働きしていない	475	24.2	21.5	16.2	15.8	1.1	4.0	1.1	10.9	5.3	—
		50.0	…(属性別)全体値より5ポイント以上高い									
		50.0	…(属性別)全体値より5ポイント以上低い									

※エリア区分についてはp3参照。共働き状況別についてはp6参照。

※2008年：購入物件の所在エリアが大阪府・兵庫県だが市区郡不明の26サンプルを除いた1045サンプルで集計。

※2007年：購入物件の所在エリアが大阪府だが市区郡不明の9サンプルを除いた1026サンプルで集計。

※2006年：購入物件の所在エリアが大阪府だが市区郡不明の5サンプルを除いた1598サンプルで集計。

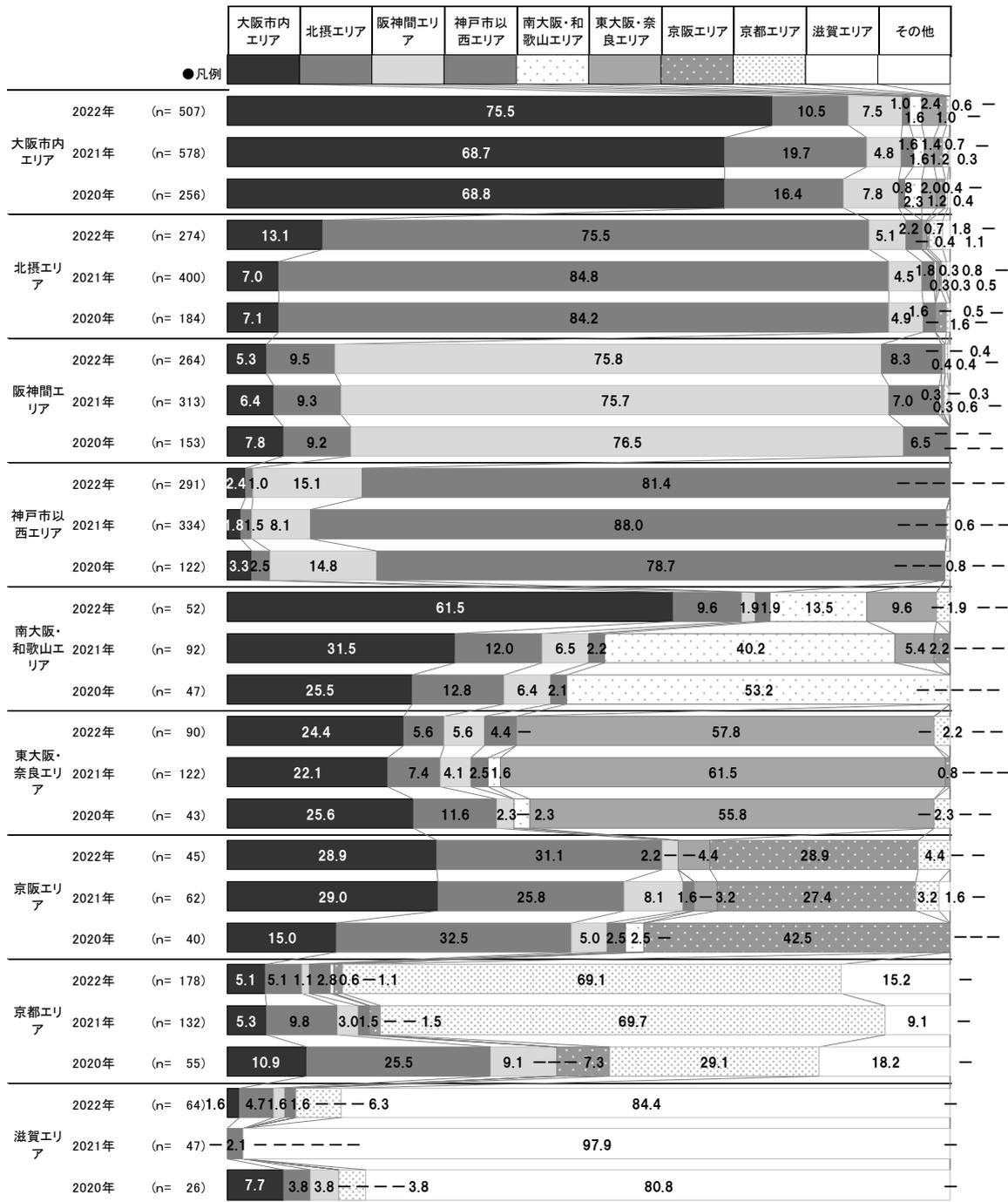
※2003年：購入物件の所在エリアが兵庫県だが市区郡不明の1サンプルを除いた1647サンプルで集計。

## 7. 購入物件所在地 契約前住所別推移

- 大阪市内以外では、2021年より流出（他エリアで購入）が増えたエリアが多い

◇ 前住所別に、購入した物件の所在地を見たところ、大阪市内エリアの居住者が「大阪市内エリア」の物件を購入した割合は76%で、2021年より増加。「大阪市内エリア」以外では、2021年より他エリアでの購入（流出）が増加したエリアが多く見られる。

### ■ 契約前住所別 購入物件所在地(直近3年間の推移)



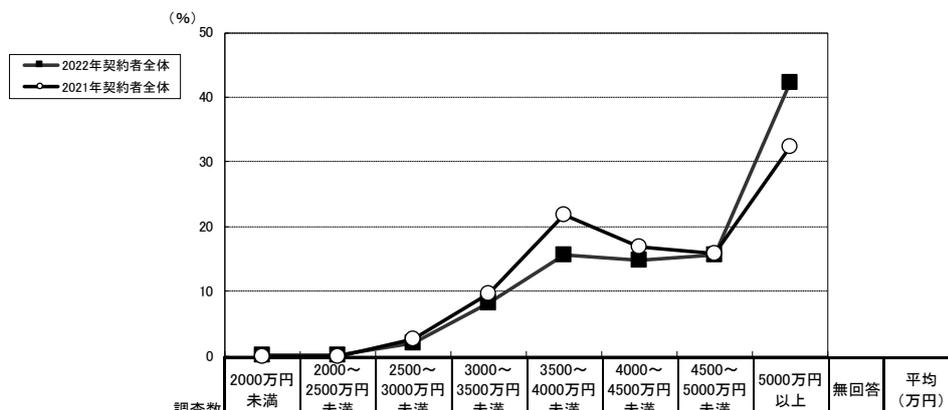
(単位: %)  
3-02-01-3

## 8. 購入価格

### ● 平均購入価格は5071万円で、昨年より291万円上昇、2001年調査開始以来最も高くなった

- ◇ 購入価格は「5000万円以上」が42%で最も多く、「4500～5000万円未満」（16%）と合わせると、4500万円以上で全体の6割弱を占める。平均購入価格は5071万円で、昨年より291万円上昇し、2001年調査開始以来最も高くなった。
- ◇ 既婚・共働き世帯を、総年収別に見ると、総年収1000万円以上の世帯では「5000万円以上」が74%を占め、平均5962万円となっている。

### ■ 購入価格(全体／実数回答)



調査年	2000万円未満	2000～2500万円未満	2500～3000万円未満	3000～3500万円未満	3500～4000万円未満	4000～4500万円未満	4500～5000万円未満	5000万円以上	無回答	平均(万円)		
<b>2022年契約者全体</b>	<b>1920</b>	<b>0.1</b>	<b>0.1</b>	<b>2.0</b>	<b>8.2</b>	<b>15.6</b>	<b>14.7</b>	<b>15.7</b>	<b>42.3</b>	<b>1.3</b>	<b>5071</b>	
2021年契約者全体	2220	—	—	2.5	9.6	21.9	16.8	15.9	32.3	0.9	4780	
2020年契約者全体	974	0.3	0.4	2.3	9.7	22.0	21.5	16.6	26.7	0.6	4633	
2019年契約者全体	1024	0.2	0.6	4.5	14.1	20.3	16.9	15.3	27.2	0.9	4517	
2018年契約者全体	1125	0.1	0.8	4.8	14.7	24.4	19.6	13.7	20.8	1.2	4338	
2017年契約者全体	1160	0.3	1.3	7.8	22.6	23.1	18.2	12.1	14.2	0.5	4060	
2016年契約者全体	1355	0.3	1.0	8.2	20.7	27.0	14.4	10.6	16.8	1.0	4094	
2015年契約者全体	1449	0.1	2.3	13.7	26.6	26.7	13.9	6.8	8.6	1.2	3770	
2014年契約者全体	1088	0.6	6.3	21.0	22.7	27.5	11.6	4.9	4.7	0.8	3510	
2013年契約者全体	1557	0.7	7.2	24.7	30.6	18.6	9.4	4.6	3.3	0.8	3383	
2012年契約者全体	2041	1.0	10.2	29.8	27.2	15.4	7.9	4.1	3.7	0.4	3296	
2011年契約者全体	1607	1.8	11.1	25.9	26.7	17.1	8.5	4.5	3.9	0.5	3321	
2010年契約者全体	1967	2.1	11.7	23.1	26.0	16.3	11.1	4.6	4.1	1.0	3339	
2009年契約者全体	922	2.8	12.7	26.1	24.1	16.9	7.2	4.7	4.0	1.5	3272	
2008年契約者全体	1071	2.0	11.2	27.7	26.5	15.4	8.2	4.2	3.3	1.5	3286	
2007年契約者全体	1035	1.4	9.4	28.2	24.0	18.8	7.8	5.0	4.3	1.2	3346	
2006年契約者全体	1603	1.6	11.8	31.8	24.0	15.1	7.6	3.4	3.4	1.4	3243	
2005年契約者全体	1248	2.2	15.5	31.5	23.7	13.6	6.2	3.4	2.6	1.4	3151	
2004年契約者全体	1146	2.5	14.0	32.4	24.6	14.1	6.3	2.7	2.4	1.0	3144	
2003年契約者全体	1648	3.3	16.0	31.2	23.4	15.2	5.8	2.4	2.1	0.7	3099	
2002年契約者全体	1473	2.8	15.9	29.5	25.4	15.0	5.2	2.6	2.5	1.2	3127	
2001年契約者全体	1500	2.5	14.5	29.0	26.5	15.7	6.7	2.6	2.1	0.4	3153	
ライフステージ別	シングル男性世帯	118	0.8	—	6.8	15.3	22.9	12.7	9.3	32.2	—	4717
	シングル女性世帯	242	—	0.8	5.8	21.9	19.8	16.5	13.2	21.1	0.8	4310
	夫婦のみ世帯	498	—	—	0.6	6.6	15.1	19.1	18.9	39.4	0.4	4928
	子どもあり世帯	713	0.1	—	0.7	4.9	13.2	12.8	16.8	50.2	1.3	5365
	シニアカップル世帯	187	—	—	1.6	3.7	15.0	10.2	13.4	54.0	2.1	5577
共働き状況別	既婚・共働きしている	923	0.1	—	0.8	5.5	13.7	15.0	18.6	45.3	1.1	5109
	世帯総年収1000万円以上	276	0.4	—	—	0.7	3.3	6.5	13.4	73.9	1.8	5962
	世帯総年収1000万円未満	440	—	—	0.9	8.4	17.3	20.5	22.3	30.5	0.2	4640
	既婚・共働きしていない	475	—	—	0.8	5.1	14.9	14.1	14.1	49.9	1.1	5483
【参考】2022年首都圏契約者全体	5972	—	0.1	1.4	4.3	9.2	11.0	13.4	59.3	1.2	5890	

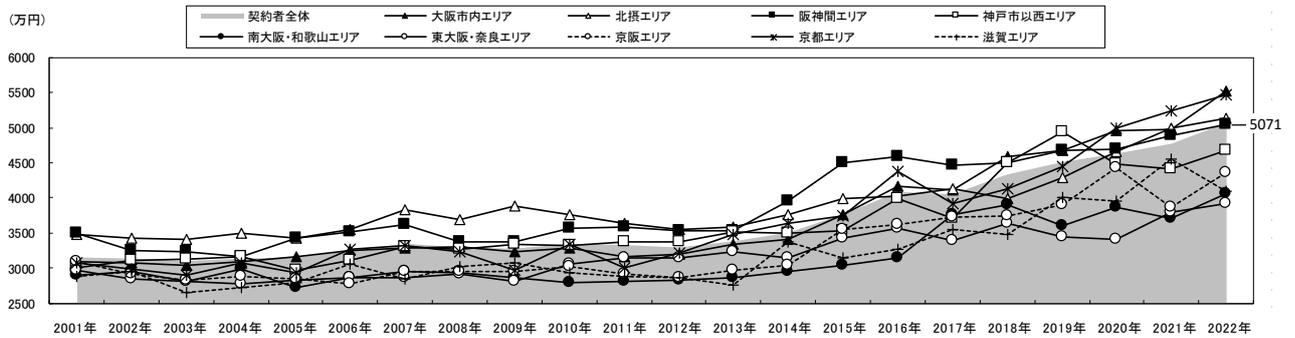
50.0 …(時系列)前年より5ポイント以上増加 / (属性別)全体値より5ポイント以上高い / (首都圏)関西の全体値より5ポイント以上高い  
 50.0 …(時系列)前年より5ポイント以上減少 / (属性別)全体値より5ポイント以上低い / (首都圏)関西の全体値より5ポイント以上低い

## 9. 購入価格（購入エリア別・平均値の時系列推移）

- 平均購入価格は、神戸市以西、京阪、滋賀以外のエリアで、2001年調査開始以来最も高い

◇ 購入物件所在地別に平均購入価格を見ると、2020年と2021年は京都エリアが最も高かったが、2022年は大阪市内エリアが最も高くなった。また、2001年からの推移を見ると、神戸市以西エリア、京阪エリア、滋賀エリア以外は、平均購入価格がこれまでで最も高くなっている。（※南大阪・和歌山エリアはn18、京阪エリアはn22）

### ■ 購入物件所在地別 平均購入価格の推移



	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
契約者全体	3153	3127	3099	3144	3151	3243	3346	3286	3272	3339	3321
購入物件所在地別											
大阪市内エリア	3093	3068	3042	3097	3154	3258	3294	3300	3224	3280	3160
北摂エリア	3474	3421	3401	3500	3433	3553	3840	3682	3877	3764	3640
阪神間エリア	3488	3251	3240	3160	3427	3515	3625	3372	3376	3567	3581
神戸市以西エリア	3012	3115	3121	3156	2964	3109	3308	3270	3345	3319	3373
南大阪・和歌山エリア	2890	2947	2809	2978	2718	2866	2943	2940	2871	2792	2806
東大阪・奈良エリア	2960	2844	2804	2771	2826	2863	2861	2917	2804	3060	3140
京阪エリア	3083	2922	2835	2877	2853	2770	2957	2959	2957	3024	2908
京都エリア	3080	2979	2890	3076	2936	3260	3324	3224	2964	3340	2997
滋賀エリア	2874	2952	2656	2715	2788	3056	2843	3019	3078	2926	2874

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
契約者全体	3296	3383	3510	3770	4094	4060	4338	4517	4633	4780	5071
購入物件所在地別											
大阪市内エリア	3199	3332	3403	3761	4163	4116	4593	4685	4956	4981	5528
北摂エリア	3541	3577	3762	3988	4026	4134	3992	4298	4655	4992	5140
阪神間エリア	3530	3527	3956	4500	4597	4463	4506	4671	4692	4886	5052
神戸市以西エリア	3377	3517	3491	3529	3995	3702	4509	4941	4479	4413	4672
南大阪・和歌山エリア	2830	2864	2951	3032	3149	3753	3898	3602	3875	3705	4062
東大阪・奈良エリア	3142	3234	3139	3424	3567	3394	3630	3444	3416	3791	3913
京阪エリア	2869	2966	3034	3549	3612	3731	3739	3907	4430	3858	4357
京都エリア	3206	3486	3646	3746	4375	3913	4136	4447	5002	5239	5471
滋賀エリア	2860	2758	3366	3152	3276	3555	3475	4013	3947	4562	4096

（単位：万円）

【参考】調査数

	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
契約者全体	1,500	1,473	1,648	1,146	1,248	1,603	1,035	1,071	922	1,967	1,607
購入物件所在地別											
大阪市内エリア	318	340	445	316	306	430	226	245	338	514	511
北摂エリア	202	265	331	204	253	276	193	163	137	403	382
阪神間エリア	222	242	253	208	204	260	133	160	130	197	221
神戸市以西エリア	246	171	210	146	199	160	130	140	76	266	202
南大阪・和歌山エリア	107	117	122	69	80	119	87	77	52	106	70
東大阪・奈良エリア	79	71	62	66	49	63	57	60	38	208	87
京阪エリア	110	90	60	44	51	125	76	60	74	62	34
京都エリア	134	133	122	68	82	76	84	88	52	111	40
滋賀エリア	76	40	40	20	21	87	34	40	21	89	58

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
契約者全体	2,041	1,557	1,088	1,449	1,355	1,160	1,125	1,024	974	2,220	1,920
購入物件所在地別											
大阪市内エリア	761	647	383	448	545	412	364	345	256	555	554
北摂エリア	472	299	231	368	299	233	183	248	266	583	347
阪神間エリア	239	185	93	105	112	165	206	188	183	346	334
神戸市以西エリア	206	165	147	195	136	122	125	105	118	368	307
南大阪・和歌山エリア	98	36	53	52	22	33	38	31	35	50	18
東大阪・奈良エリア	85	59	42	94	61	18	11	10	31	96	76
京阪エリア	69	61	36	58	39	42	25	47	28	31	22
京都エリア	71	62	75	104	116	119	156	37	25	123	169
滋賀エリア	39	43	28	19	25	16	17	13	32	68	93

（単位：人）

3-02-11-29

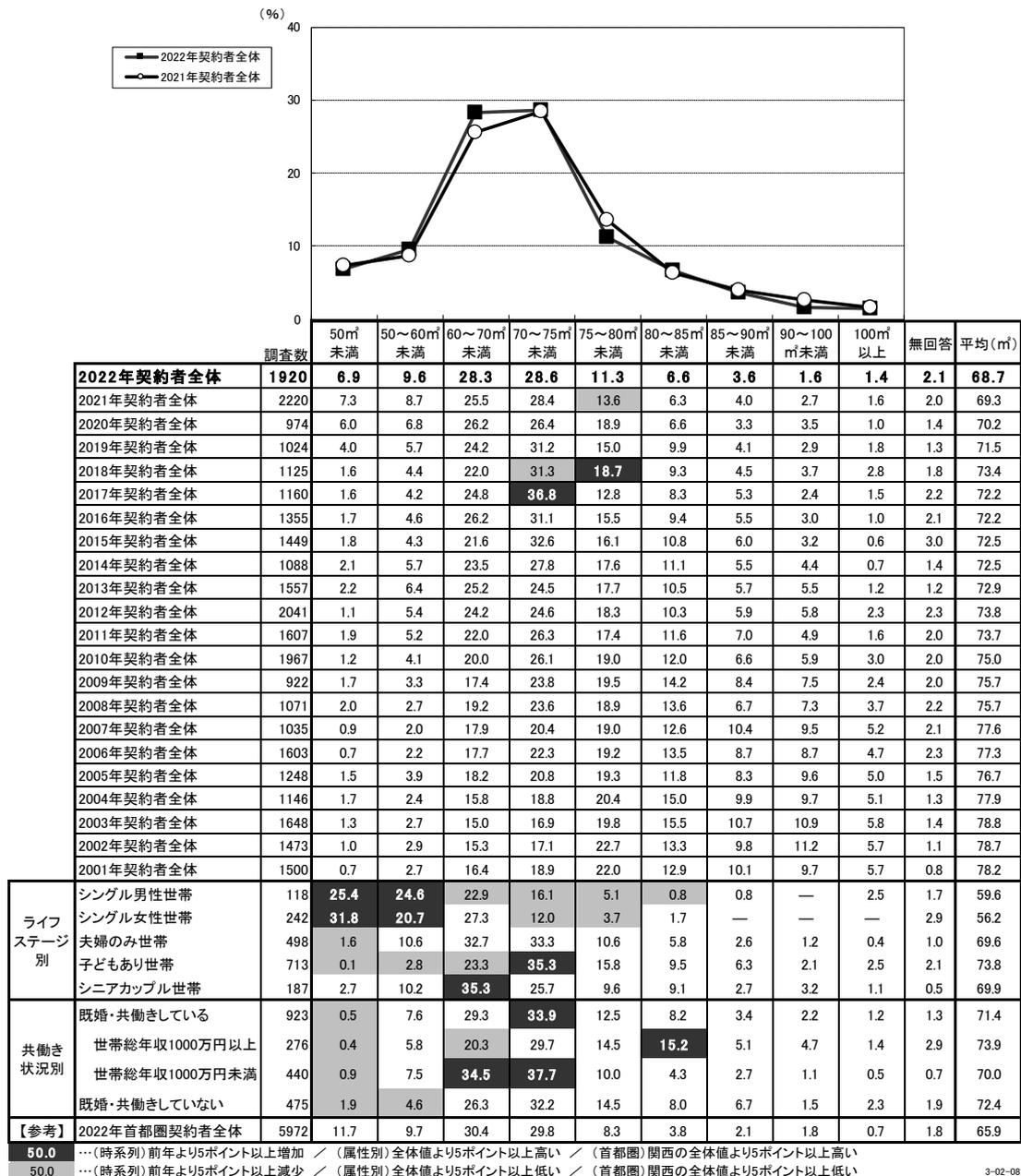
## 10. 専有面積

### ● 平均専有面積は68.7㎡で、2001年調査開始以来最も小さい

◇ 専有面積は「70～75㎡未満」が29%、「60～70㎡未満」が28%を占める。2001年には20%だった70㎡未満の割合が、2022年は45%となり、平均専有面積は68.7㎡で、2001年の調査開始以来、最も小さくなった。

◇ ライフステージ別に見ると、平均専有面積が最も大きいのは子どもあり世帯で、73.8㎡である。

### ■ 専有面積(全体／実数回答)



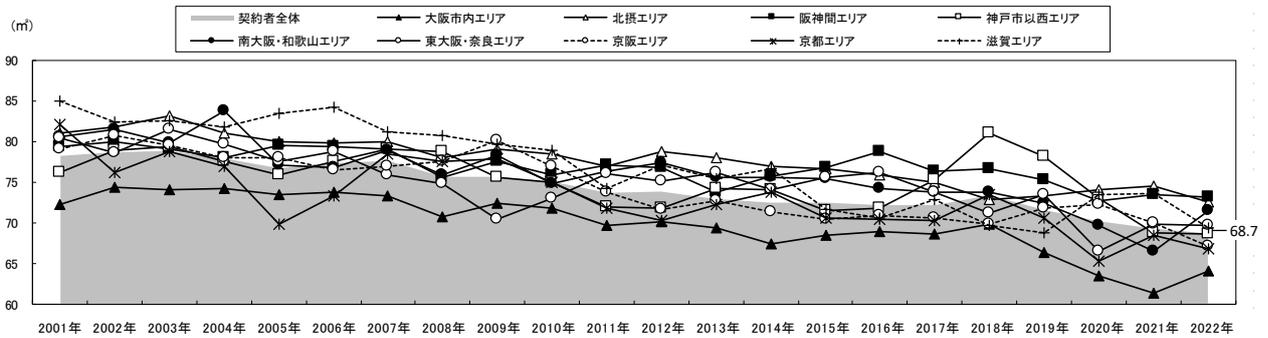
3-02-08

# 11. 専有面積（購入エリア別・平均値の時系列推移）

● 平均専有面積は、北摂、神戸以西、京阪の3エリアで、2001年調査開始以来最も小さい

◇ 購入物件所在地別に平均専有面積の推移を見ると、北摂エリア、神戸以西エリア、京阪エリアでは、2001年の調査開始以来、最も小さくなった。

## ■ 購入物件所在地別 平均専有面積の推移



	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
契約者全体	78.2	78.7	78.8	77.9	76.7	77.3	77.6	75.7	75.7	75.0	73.7
大阪市内エリア	72.3	74.3	74.1	74.2	73.4	73.8	73.3	70.7	72.4	71.8	69.7
北摂エリア	81.0	81.8	83.1	81.1	80.0	79.8	80.0	78.0	79.0	78.4	77.0
阪神間エリア	79.4	79.9	79.1	78.0	79.5	79.4	79.0	75.5	77.5	75.8	77.1
神戸市以西エリア	76.1	78.9	79.4	77.6	75.9	77.5	79.0	78.7	75.6	74.9	72.0
南大阪・和歌山エリア	80.6	81.5	79.8	83.8	77.1	76.8	78.9	75.8	78.3	74.8	76.4
東大阪・奈良エリア	80.4	78.6	81.5	79.7	77.6	78.7	75.9	74.8	70.4	73.0	76.0
京阪エリア	79.1	80.7	79.5	78.0	78.0	76.5	77.0	77.5	80.1	77.0	73.7
京都エリア	82.1	76.1	78.7	76.9	69.8	73.3	78.5	77.5	77.9	74.9	71.8
滋賀エリア	84.9	82.4	82.5	81.8	83.4	84.2	81.2	80.7	79.6	78.9	74.2

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
契約者全体	73.8	72.9	72.5	72.5	72.2	72.2	73.4	71.5	70.2	69.3	<b>68.7</b>
大阪市内エリア	70.1	69.4	67.4	68.5	68.9	68.6	69.8	66.3	63.4	61.3	<b>64.0</b>
北摂エリア	78.8	78.0	76.9	76.6	75.9	75.0	72.8	73.3	74.1	74.5	<b>72.5</b>
阪神間エリア	76.8	73.8	75.7	76.8	78.8	76.4	76.6	75.2	72.7	73.5	<b>73.2</b>
神戸市以西エリア	71.7	74.2	74.0	71.4	71.8	75.2	81.0	78.1	73.0	68.8	<b>68.6</b>
南大阪・和歌山エリア	77.4	75.6	75.5	75.4	74.2	73.8	73.8	72.4	69.6	66.4	<b>71.4</b>
東大阪・奈良エリア	75.1	76.2	74.0	75.5	76.1	73.7	71.2	73.5	66.4	69.8	<b>69.7</b>
京阪エリア	71.6	72.7	71.3	70.4	70.9	70.6	69.8	71.7	72.2	70.0	<b>67.0</b>
京都エリア	70.3	72.2	73.7	70.6	70.4	70.3	73.4	70.5	65.2	68.4	<b>66.7</b>
滋賀エリア	77.1	75.4	76.7	71.6	70.6	72.9	69.6	68.8	73.5	73.6	<b>69.3</b>

(単位: m)

【参考】調査数

	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
契約者全体	1,500	1,473	1,648	1,146	1,248	1,603	1,035	1,071	922	1,967	1,607
大阪市内エリア	318	340	445	316	306	430	226	245	338	514	511
北摂エリア	202	265	331	204	253	276	193	163	137	403	382
阪神間エリア	222	242	253	208	204	260	133	160	130	197	221
神戸市以西エリア	246	171	210	146	199	160	130	140	76	266	202
南大阪・和歌山エリア	107	117	122	69	80	119	87	77	52	106	70
東大阪・奈良エリア	79	71	62	66	49	63	57	60	38	208	87
京阪エリア	110	90	60	44	51	125	76	60	74	62	34
京都エリア	134	133	122	68	82	76	84	88	52	111	40
滋賀エリア	76	40	40	20	21	87	34	40	21	89	58

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
契約者全体	2,041	1,557	1,088	1,449	1,355	1,160	1,125	1,024	974	2,220	<b>1,920</b>
大阪市内エリア	761	647	383	448	545	412	364	345	256	555	<b>554</b>
北摂エリア	472	299	231	368	299	233	183	248	266	583	<b>347</b>
阪神間エリア	239	185	93	105	112	165	206	188	183	346	<b>334</b>
神戸市以西エリア	206	165	147	195	136	122	125	105	118	368	<b>307</b>
南大阪・和歌山エリア	98	36	53	52	22	33	38	31	35	50	<b>18</b>
東大阪・奈良エリア	85	59	42	94	61	18	11	10	31	96	<b>76</b>
京阪エリア	69	61	36	58	39	42	25	47	28	31	<b>22</b>
京都エリア	71	62	75	104	116	119	156	37	25	123	<b>169</b>
滋賀エリア	39	43	28	19	25	16	17	13	32	68	<b>93</b>

(単位: 人)

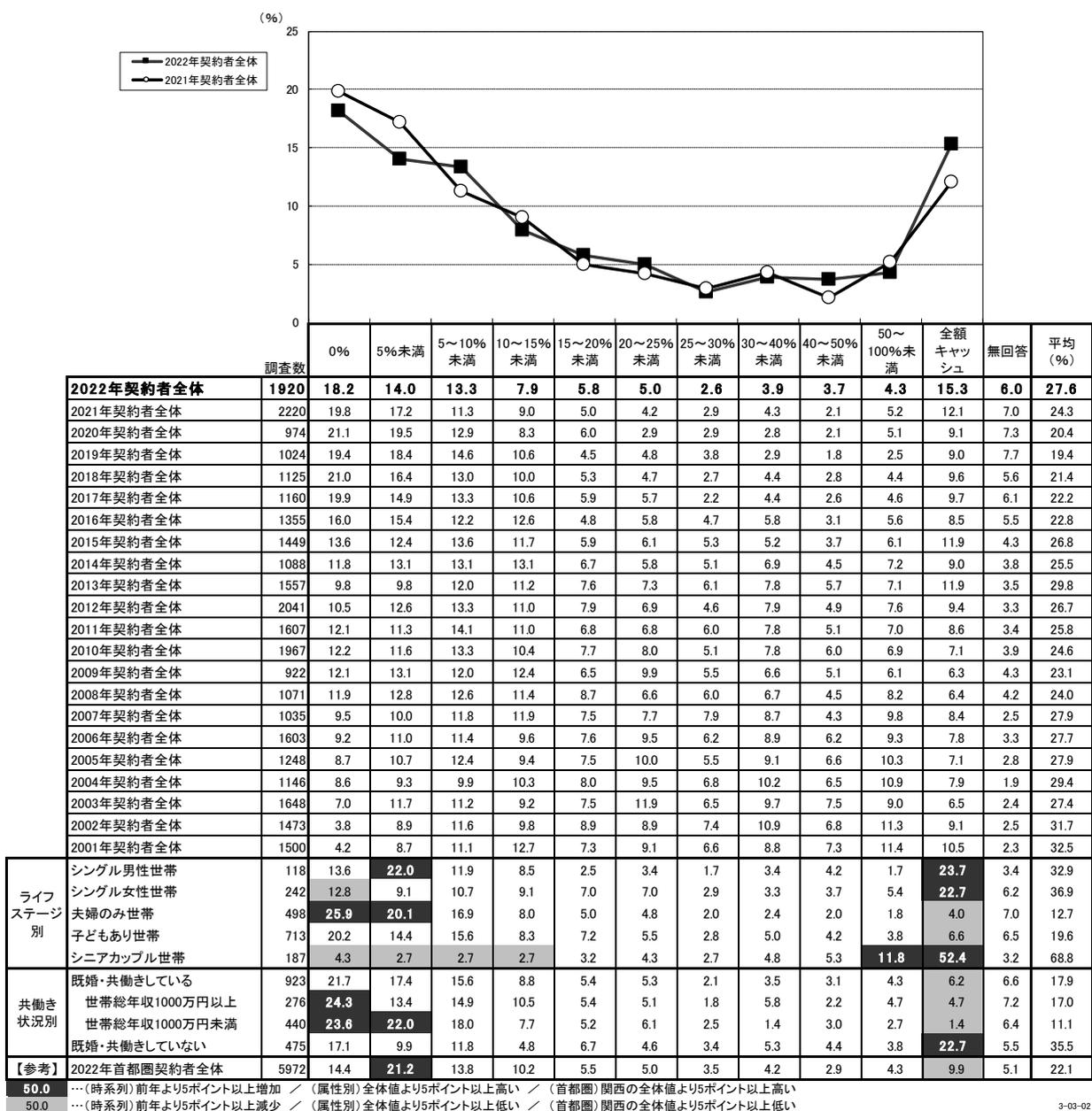
3-02-06-29

## 12. 自己資金比率

### ● 自己資金比率は平均27.6%で、2021年より3ポイント上昇

- ◇ 自己資金5%未満の割合が21年より減少、「全額キャッシュ」が3ポイント増加し、自己資金比率は平均で27.6%となり、2021年より3ポイント上昇した。
- ◇ ライフステージ別に見ると、自己資金比率の平均が最も高いのはシニアカップル世帯の68.8%、最も低いのは夫婦のみ世帯の12.7%である。
- ◇ 既婚世帯を共働き状況別に見ると、共働きをしている方が自己資金比率の平均が低くなっている。

### ■ 自己資金比率(全体／実数回答)



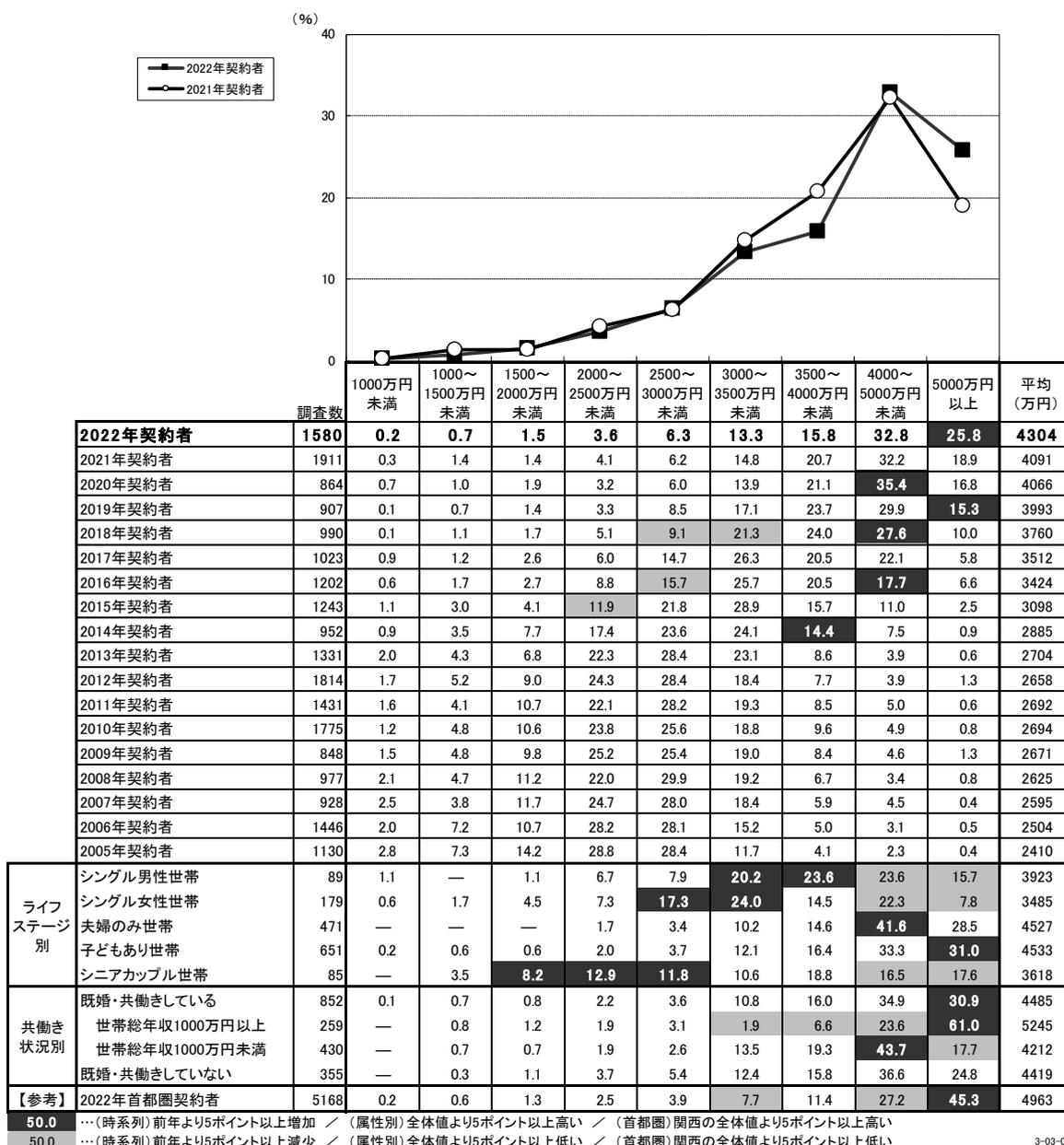
3-03-02

### 13. ローン借入額

● ローン借入総額は平均4304万円で、昨年より213万円上昇、2005年以降で最も高い

- ◇ ローン借入総額は、4000万円以上が6割弱を占め、平均4304万円で、昨年より213万円上昇し、2005年以降で最も高くなった。
- ◇ ライフステージ別に見ると、夫婦のみ世帯、子どもあり世帯で、ローン借入総額（平均）が4500万円を超える。
- ◇ 既婚世帯を共働き状況別に見ると、共働きをしている方がローン借入総額（平均）が高い。さらに、共働き世帯を総年収別にみると、総年収1000万円以上の世帯では、「5000万円以上」が61%を占め、平均で5245万円となっている。

■ ローン借入総額（ローン借入者／実数回答）



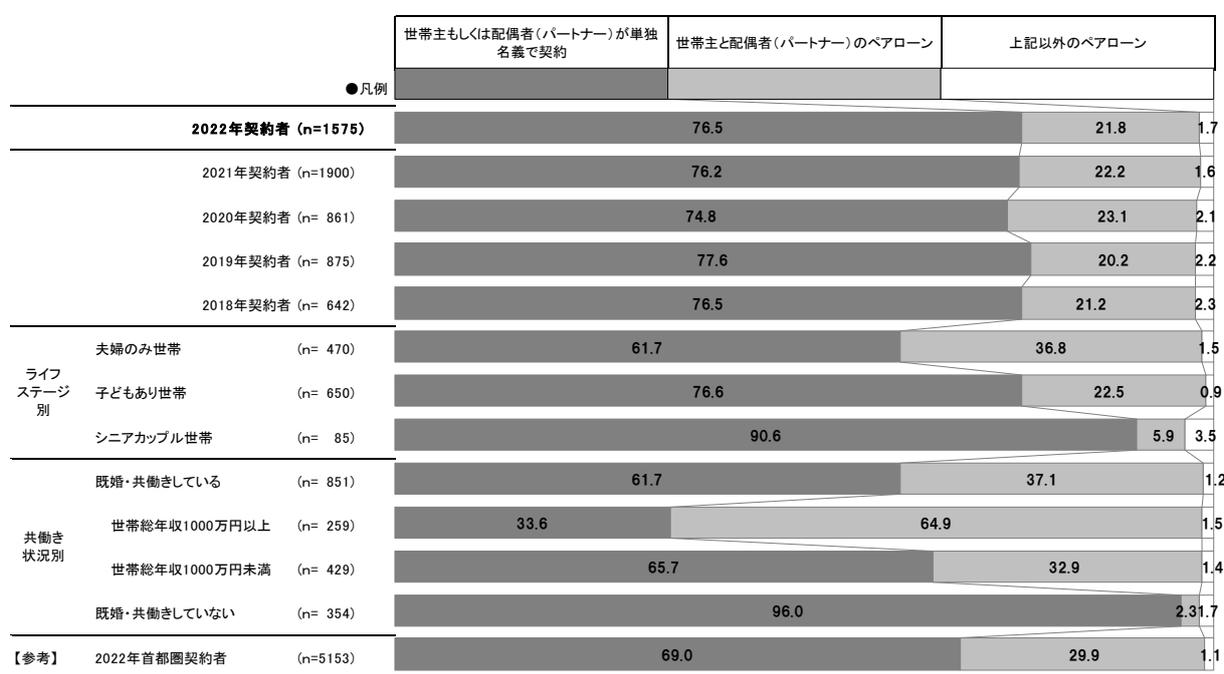
※ローン借入者:ローン借入総額の回答があり、かつ金額が0円でない者。

## 14. ローン契約形態

### ● 世帯主と配偶者のペアローンが全体で22% 2018年以来、2割前後で推移している

- ◇ 住宅ローンの契約形態は、「単独名義で契約」が77%を占め、「世帯主と配偶者のペアローン」は22%である。2018年以来、「世帯主と配偶者のペアローン」の割合は、2割前後で推移している。
- ◇ ライフステージ別に見ると、夫婦のみ世帯では「世帯主と配偶者のペアローン」が37%を占めている。
- ◇ 既婚世帯を共働き状況別に見ると、共働きをしている世帯では「世帯主と配偶者のペアローン」が37%を占めている。さらに、既婚・共働き世帯を、総年収別に見ると、総年収1000万円以上の世帯の方が「世帯主と配偶者のペアローン」の割合が高く、65%を占めている。

### ■ 住宅ローン契約形態（ローン借入者。住宅ローン非利用、無回答除く／単一回答）



(単位:%)  
3-03-12-1

※ローン借入者:ローン借入総額の回答があり、かつ金額が0円でない者。

※住宅ローン契約形態は、2018年3月下旬に新設された項目のため、2018年契約者については、旧調査票での回答者は集計から除いている。

※住宅ローン契約形態は、以下のように尋ねているが、

4.住宅ローンは利用していないと回答した者、この質問に無回答だった者も集計から除いている。

Q19 住宅ローンについてお聞きます。

①契約形態は、次のどれにあてはまりますか。(該当するものを1つ選択し、番号に○)

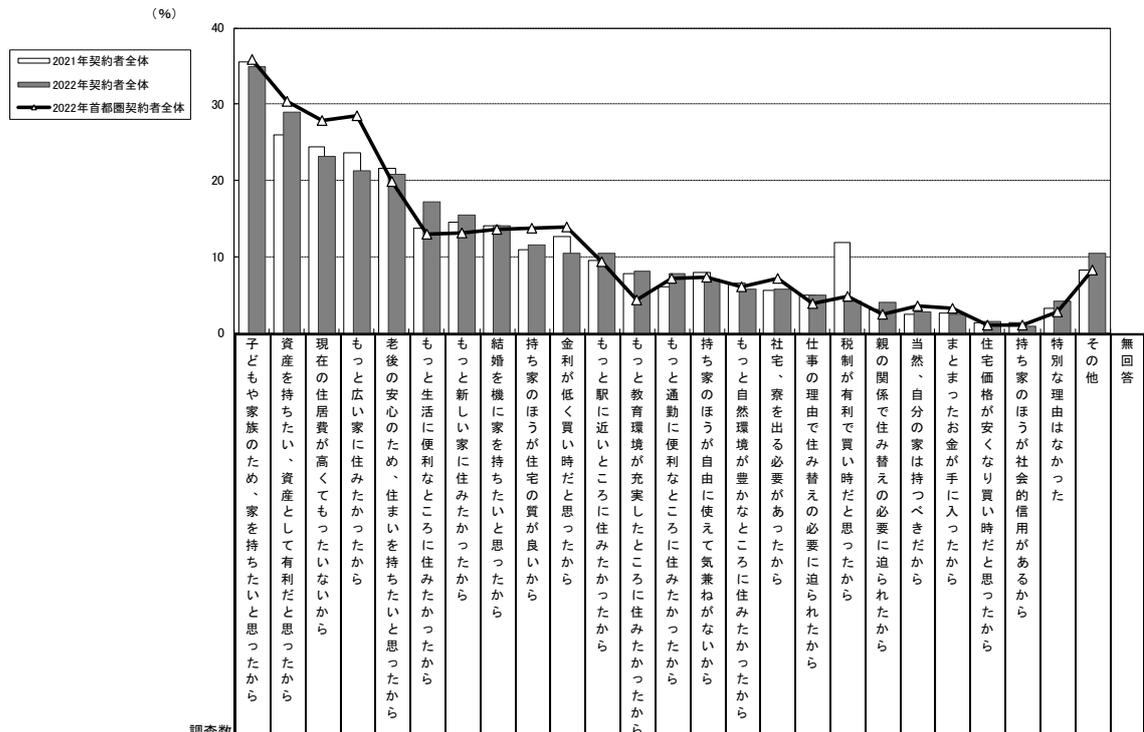
- 1.世帯主もしくは配偶者(パートナー)が単独名義で契約
- 2.世帯主と配偶者(パートナー)のペアローン
- 3.上記以外のペアローン
- 4.住宅ローンは利用していない

# 15. 住まいの購入理由

- 「資産として有利」という理由が2003年以降で最高、「金利が低い」「税制が有利」等は最低に

- ◇ 住まいの購入を思い立った理由は、「子どもや家族のため、家を持ちたいと思ったから」が最も多く35%。次いで、「資産を持ちたい、資産として有利だと思ったから」（29%）である。
- ◇ 2003年以降で最も高くなったのは、「資産を持ちたい、資産として有利だと思ったから」「もっと生活に便利などころに住みたかったから」「もっと新しい家に住みたかったから」、反対に、最も低くなったのは、「現在の住居費が高くてもったいないから」「金利が低く買い時だと思ったから」「税制が有利で買い時だと思ったから」などである。

## ■ 購入理由（全体／3つまでの限定回答）※「2022年契約者全体」で降順ソート



	調査数	2022年契約者全体	2021年契約者全体	2020年契約者全体	2019年契約者全体	2018年契約者全体	2017年契約者全体	2016年契約者全体	2015年契約者全体	2014年契約者全体	2013年契約者全体	2012年契約者全体	2011年契約者全体	2010年契約者全体	2009年契約者全体	2008年契約者全体	2007年契約者全体	2006年契約者全体	2005年契約者全体	2004年契約者全体	2003年契約者全体							
子どもや家族のため、家を持ちたいと思ったから	1920	<b>34.9</b>	28.9	23.1	21.2	20.8	17.2	15.4	14.0	11.5	10.5	10.4	8.1	7.8	7.0	5.8	5.7	4.9	4.2	4.0	2.8	2.5	1.5	0.9	4.1	10.4	1.5	
資産を持ちたい、資産として有利だと思ったから	2220	35.5	26.0	24.4	23.6	21.6	13.7	14.5	14.0	10.9	12.7	9.5	7.7	6.1	7.9	6.5	5.5	5.0	11.9	3.1	2.5	2.6	1.4	1.4	3.2	8.3	1.4	
現在の住居費が高くてもったいないから	974	38.2	25.9	28.6	20.8	19.7	12.3	15.3	17.2	12.9	13.0	9.0	9.7	8.4	6.3	5.1	5.4	3.7	8.2	3.7	4.1	2.1	1.1	1.4	2.5	8.3	1.1	
もっと広い家に住みたかったから	1024	41.1	26.9	26.5	20.0	20.1	11.9	12.5	17.7	11.0	15.0	9.0	8.3	10.5	7.8	3.5	6.4	5.1	7.0	2.6	2.9	1.9	1.5	1.5	2.7	8.0	0.9	
老後の安心のため、住まいを持ちたいと思ったから	1125	38.5	20.0	26.9	23.6	20.6	15.0	14.3	15.9	11.7	20.7	11.6	6.8	10.0	5.3	3.6	6.3	4.1	6.8	3.6	4.0	1.4	1.5	1.2	2.8	7.6	0.9	
もっと新しい家に住みたかったから	1160	40.6	19.6	30.0	20.4	18.1	15.3	12.2	15.7	10.8	27.3	10.5	6.9	9.7	4.6	4.9	5.7	4.9	7.1	3.3	4.4	2.0	1.9	1.2	2.7	7.8	1.1	
結婚を機に家を持ちたいと思ったから	1355	38.8	22.2	27.8	18.9	17.1	13.4	11.5	14.8	9.8	36.6	9.2	7.9	9.9	5.7	5.0	5.5	4.3	5.9	2.8	3.5	1.9	1.6	1.3	3.2	8.2	0.8	
持ち家のほうが住宅の質が良いから	1449	40.3	19.9	28.5	15.7	16.5	16.0	11.1	15.0	11.8	25.7	11.0	9.5	10.6	6.8	5.8	5.0	5.1	6.1	4.4	5.0	2.0	3.0	1.4	2.6	9.4	0.5	
金利が低く買い時だと思ったから	1088	40.8	16.9	30.4	21.9	16.6	15.0	12.5	15.8	12.1	18.8	10.2	9.1	11.3	5.9	5.5	6.1	5.2	8.5	2.8	4.6	1.7	4.9	1.6	2.6	8.1	0.4	
もっと生活に便利などころに住みたかったから	1557	35.6	16.1	30.2	17.1	17.5	13.8	12.1	15.9	10.9	24.9	9.9	6.9	10.9	5.5	3.9	6.6	3.7	16.1	4.6	4.6	2.4	8.9	1.2	2.8	8.5	0.3	
もっと駅に近いところに住みたかったから	2041	37.6	13.6	31.3	20.2	15.3	14.3	11.7	16.3	11.3	26.4	10.4	7.3	10.2	6.2	4.9	5.4	2.8	15.1	4.0	4.1	1.6	9.6	1.0	2.4	9.2	0.3	
もっと教育環境が充実したところに住みたかったから	1607	37.5	12.6	30.1	18.5	14.9	12.3	12.1	17.0	12.0	31.7	10.3	6.7	9.3	5.0	5.5	6.8	2.4	12.9	4.0	4.9	1.1	10.3	1.4	2.4	9.7	0.2	
もっと通勤に便利などころに住みたかったから	1967	35.3	14.1	30.3	20.1	14.2	10.4	11.4	17.5	9.3	36.2	9.4	6.9	10.3	4.9	4.2	6.1	2.9	14.1	3.1	4.2	1.2	16.2	1.2	2.3	6.8	0.2	
持ち家のほうが自由に使えるに気兼ねがないから	922	38.0	10.8	29.0	19.7	13.9	9.4	10.2	15.5	8.0	37.0	7.3	6.6	8.6	4.4	4.2	5.5	2.4	18.5	3.7	2.8	1.6	27.3	1.0	1.6	7.6	—	
社宅、寮を出る必要があったから	1071	39.5	15.5	34.2	25.0	13.2	10.7	11.0	19.0	12.9	13.3	9.5	6.9	10.7	8.7	7.7	6.3	3.6	6.0	3.5	5.8	1.2	9.2	2.2	2.6	10.6	0.1	
仕事の理由で住み替えの必要に迫られたから	1035	41.3	13.5	30.4	23.4	13.0	10.0	12.6	16.4	11.4	24.3	8.1	7.3	9.9	7.6	8.4	6.5	3.1	7.3	3.9	5.5	1.8	7.0	1.4	3.3	9.9	0.1	
税制が有利で買い時だと思ったから	1603	35.1	10.9	28.6	26.0	14.1	11.2	11.4	15.2	10.4	34.1	7.4	6.8	9.0	5.8	7.4	6.6	2.6	6.7	3.4	5.2	1.7	14.3	1.6	3.0	10.5	0.2	
親の関係を住み替えの必要に迫られたから	1248	33.2	10.3	29.8	24.0	10.3	12.7	13.8	14.1	9.4	35.0	11.2	7.7	9.0	6.3	4.6	6.3	2.8	5.9	2.7	4.7	1.2	18.3	2.2	2.7	11.1	0.4	
当然、自分の家は持つべきだから	1146	29.0	12.6	29.2	25.8	12.2	12.7	10.9	14.0	9.8	30.5	10.8	5.3	9.2	7.2	6.8	6.9	3.2	11.1	3.9	3.3	1.6	23.2	1.5	3.0	9.5	0.1	
まとまったお金が手に入ったから	1648	29.4	8.9	31.4	27.4	11.7	11.8	12.3	14.7	10.2	35.4	8.1	5.7	9.0	6.5	7.0	7.2	2.2	10.2	3.6	4.1	1.9	23.2	1.3	2.5	9.5	—	
住宅価格が安くなり買い時だと思ったから	118	6.8	45.8	16.1	18.6	21.2	17.8	14.4	—	16.1	19.5	11.0	0.8	11.0	10.2	5.9	8.5	7.6	5.9	8.5	5.1	5.1	5.1	—	5.9	13.6	2.5	
特別な理由はなかった	242	2.1	33.1	26.9	16.5	34.3	19.8	22.3	0.4	17.4	14.0	14.9	0.4	8.3	6.6	5.0	1.2	2.5	5.0	11.6	4.1	1.7	1.7	1.2	7.9	13.2	2.1	
持ち家のほうが社会的信用があるから	498	26.3	30.7	32.3	19.7	15.3	12.9	11.6	44.6	14.7	10.6	6.8	3.0	7.6	9.8	6.2	5.0	4.0	5.6	1.4	4.0	1.8	1.0	1.4	3.0	6.2	0.2	
その他	713	34.9	22.4	22.4	28.9	14.9	14.3	14.2	4.5	9.4	6.9	17.4	6.7	5.3	4.9	7.7	6.5	2.9	2.1	1.7	1.5	0.8	0.6	2.9	8.2	1.0		
無回答	187	8.6	27.8	7.5	7.0	39.6	33.7	25.1	2.1	3.7	4.3	25.7	0.5	9.1	3.2	11.2	8.0	2.7	3.7	1.1	7.0	1.6	—	5.9	19.7	3.7		
【参考】	2022年首都圏契約者全体	5972	35.8	30.4	27.9	28.5	19.8	13.0	13.1	13.5	13.7	13.9	9.4	4.3	7.1	7.3	6.0	7.1	3.9	4.8	2.5	3.6	3.2	1.0	1.0	2.7	8.2	1.3
50.0	…(時系列) 前年より5ポイント以上増加	／ (属性別) 全体値より5ポイント以上高い																								(首都圏) 関西の全体値より5ポイント以上高い		
50.0	…(時系列) 前年より5ポイント以上減少	／ (属性別) 全体値より5ポイント以上低い																								(首都圏) 関西の全体値より5ポイント以上低い		

# 16. 暮らし方のイメージ

## ● 「日々の生活がしやすい」を求める割合が、2021年同様最も高く、35%

- ◇ 住まい探しに当たって求めた暮らし方のイメージで最も多いのは、「日々の生活がしやすい」「仕事や通勤に便利」で、共に35%。以下、「子育て・教育がしやすい」「買い物に便利である」（共に31%）、と続く。
- ◇ 2021年と比べて、求める割合がやや上がったのは、「買い物に便利である」「都会的な暮らしを楽しめる」、求める割合がやや下がったのは、「居住空間にゆとりがある」「日々のよい生活ができる」である。
- ◇ 既婚・共働き状況別に見ると、共働きをしている世帯では、「子育て・教育がしやすい」ことを求める割合が最も高い。また、全体と比べて、「共働きがしやすい」ことを求める割合が高くなっている。

## ■ 暮らし方のイメージ(全体／5つまでの限定回答)

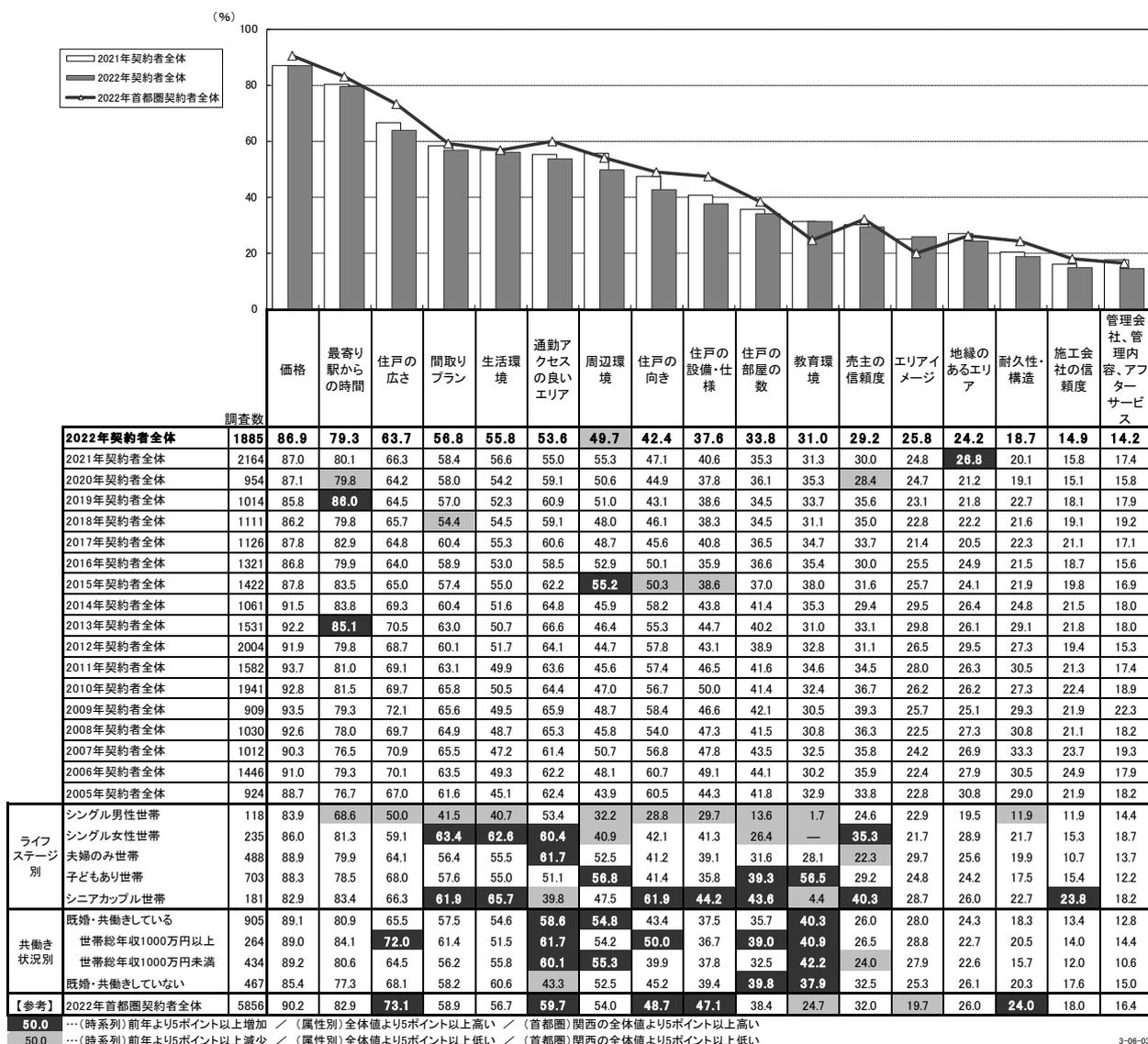
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	21	24	25	25
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14											

## 17. 重視項目

### ● 2021年より、周辺環境の重視度が低下

- ◇ 物件を検討する上で重視した項目は、「価格」(87%)が最も高く、以下「最寄り駅からの時間」(79%)、「住戸の広さ」(64%)、「間取りプラン」(57%)などが続く。2021年と比べて、「周辺環境」の重視度が低下した。
- ◇ 2005年以降の変化を見ると、「住戸の広さ」「通勤アクセスの良いエリア」「住戸の向き」「住戸の部屋の数」「耐久性・構造」「施工会社の信頼度」「管理会社、管理内容、アフターサービス」の重視度が最も低くなった。
- ◇ ライフステージ別に見ると、シニアカップル世帯では、「間取りプラン」「生活環境」「住戸の向き」「住戸の設備・仕様」「住戸の部屋の数」「売主の信頼度」「施工会社の信頼度」の重視度が、全体を5ポイント以上上回る。

### ■ 購入重視項目(全体、無回答を除く／複数回答) ※「2022年契約者全体」で降順ソート



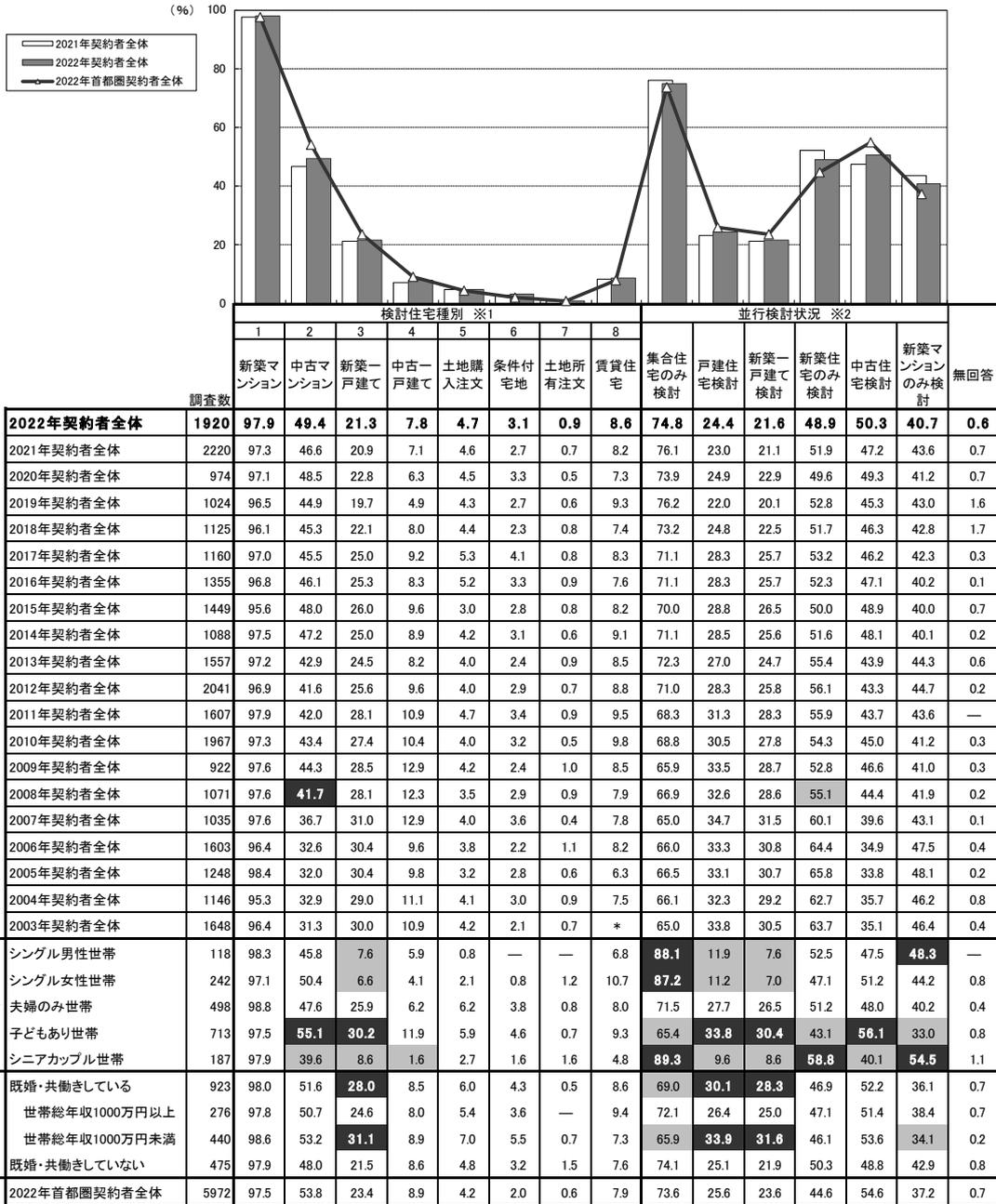
※購入重視項目は2006年まで二次調査項目のため、2006年契約者までは二次調査回答者ベースとなっている。

# 18. 検討住宅種別

● 中古マンションとの並行検討者は全体の49% 2003年以降最も高い

◇ 具体的に検討した住宅の種別は、新築マンション以外では「中古マンション」が最も多く49%。2003年以降でも高くなった。

## ■ 具体的に検討した住宅種別(全体／複数回答)



\*...該当項目なし

... (時系列) 前年より5ポイント以上増加 / (属性別) 全体値より5ポイント以上高い / (首都圏) 関西の全体値より5ポイント以上高い

50.0 ... (時系列) 前年より5ポイント以上減少 / (属性別) 全体値より5ポイント以上低い / (首都圏) 関西の全体値より5ポイント以上低い

3-05-03

### ※1 <検討住宅種別について>

新築マンション契約者が、具体的に検討した住宅を種別ごとに集計 (選択肢の文言に関する補足)

5「土地購入注文」	建築条件なしの土地を購入して注文建築
6「条件付宅地」	建築条件付の土地*を購入して注文建築 (*施工会社があらかじめ決まっている土地)
7「土地所有注文」	所有している土地に注文建築
8「賃貸住宅」	2004年契約者から選択肢を追加

### ※2 <並行検討状況について>

新築マンション契約者が、並行して検討した住宅の分野ごとに集計

(分野に関する補足: 賃貸住宅を除く検討住宅種別(1~7)の選択状況によって、下記の通り分類)

集合住宅のみ検討	1または2に○、3~7のいずれも×
戸建住宅のみ検討	3~7のいずれかに○
新築一戸建て検討	3または6に○
新築住宅のみ検討	1、3、5、6、7のいずれかに○、2、4のいずれも×
中古住宅のみ検討	2または4に○
新築マンションのみ検討	1のみに○、2~7のいずれも×

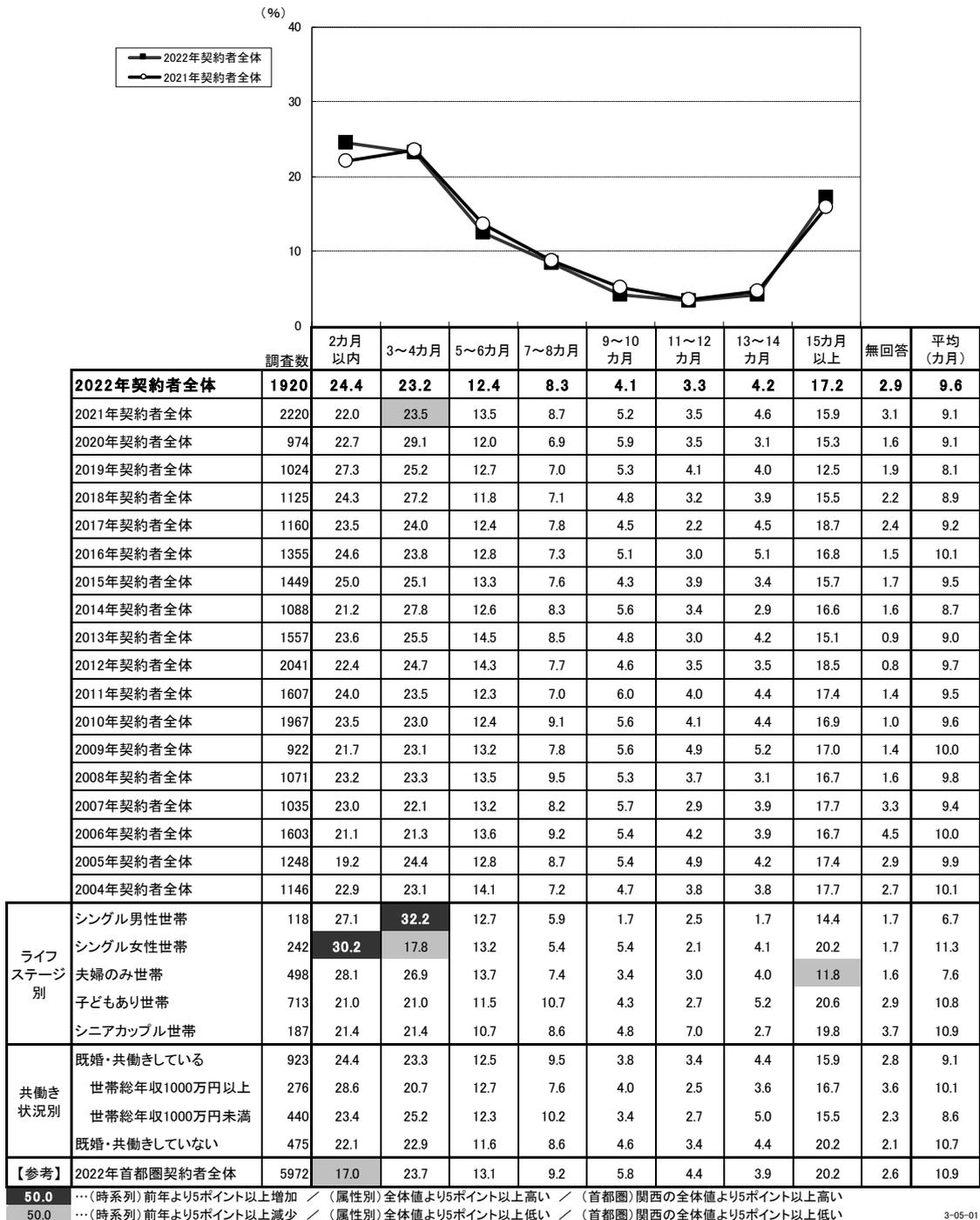
## 19. 購入を思い立ってから契約までの期間

### ● 購入を思い立ってから契約までの期間は平均9.6カ月 2021年よりやや長い

◇ 購入を思い立ってから契約するまでの期間は、「2カ月以内」が24% 「3～4カ月」が23%で、半数弱が4カ月以内に契約している。平均は9.6カ月で、2021年よりやや長くなった。

◇ ライフステージ別に見ると、シニアカップル世帯では平均10.9カ月で、最も長くなっている。

### ■ 購入を思い立ってから契約までの期間(全体／実数回答)



50.0 …(時系列)前年より5ポイント以上増加 / (属性別)全体値より5ポイント以上高い / (首都圏)関西の全体値より5ポイント以上高い  
 50.0 …(時系列)前年より5ポイント以上減少 / (属性別)全体値より5ポイント以上低い / (首都圏)関西の全体値より5ポイント以上低い

3-05-01

## 『SUUMOリサーチセンター』について

『SUUMOリサーチセンター』は、『SUUMO』の調査研究機関として、住まいや暮らしについての調査、住まいの品質向上に向けた実証実験、テクノロジーの実態調査を行っています。業界に向けた提言や生活者に向けた発信によって、住まいの価値を高め、一人ひとりにその価値が届くまでの伴走・支援をしています。『リクルート住宅総研』としての創立以来、約20年に渡って培ってきた住まいの検討者と不動産事業者に関する深い現場知見と『SUUMO』という国内最大級メディア運営に基づくデータに依拠した、実現できる未来を発信していきます。

## リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/>      リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>